松田拓相鮮満視察の旅へ

《東京二十一日設電》政府では最一高政策として明年度業界に千五百

相手方の「「なっない

を覚察してるるが、帰国とも何られてしまった、ソコでロシャ機は れてしまった、ソコでロシャ機は では若し居氏を駆撃して下らず支 なととがあれば正式交渉における

教策につき間る重要なる意義

職相の財源捻出方針

利事業を中止し

教育補助費增額

太平洋問題調査會にて

論議される満洲

の余日章

京二十一日翌世】夢、米軍縮一内交渉の一段落と共に比機會を利一用して日本が其七朝

佛伊も日本に倣ひ参加

英米の高壓的態度

本會議前に

6日本に続い英米と内変物を開始を開始したるにつき例、伊 機全感反動等につき英、米と三國

七割比率主張の 諒解を求む

たけ全く我常局の脚帯を裏切るもので、年来の主題たる 七割保持方分と大なる郷帯をかけてるたものであるが、過日マッノ首相並びにステムソ

切るもので、年来の主張たる

ヴァー氏組閣書初からの軍職方針に信職し英米間の準備交渉の結果として現

主張する方針なりし膨水管問題其他重大なる日本語

戦の艦属となつて交渉決裂の責任を無理罪し
の保の問題については未解決の

戦を開催せんとの意識を明

國の内交渉開始

日本政府も俄然積極的に準備交渉に乗出すこと」なった、東京神電ニ十一日教】二十日の歌歌の総彩、最被より英米郷都交渉に黙し耐

型の原因から設き越し最近の英、 一十日午後大時間と解解用、藤田敞一 に等の有力割型家を招待し解原外 相及び精部海相から取除一般につ 相及び精部海相から取除一般につ を説明したる後、左近司軍を耐失 は一昨年のジュネーダ軍騎台勝決 財部海相、實業家に

が、散食後庭谷男は が、散食後庭谷男は が、散食後庭谷男は が、散食を取り上野が撃主服の理由を が、散食を放ったのでは、 大田の上野が撃主服の理由を が、数値のと野が撃主服の理由を

補助艦建造 繰上計畫保留

取から今暫く同倉議成立の經道を見 要り置大なる関係を持つものである 要り置大なる関係を持つものである の問題としては目下進捗中の襲軍 がある関係を持つものである

軍縮の成行を見極めるまで

電東京二十一日設置」補助継続二 東京二十一日設置」補助継続二 東大・開始せんとする海軍省の要 東上り開始せんとする海軍省の要 東上り開始せんとする海軍省の要 京に蘇し大戦省では本間圏は財政 京に蘇し大戦省では本間圏は財政 京に蘇し大戦省では本間圏は財政 京に蘇し大戦省では本間圏は財政

方財政を膨脹させるやうな事は機能減にとそなれ従来の如き地震国に行はしめるから國民の負

飽

定

東

蠍

奪

回

を
策

す

勞農硬化の原因

對內策と共産黨の鞭撻に因り

支 にあると同様な立場にあり板ばさ 東介石氏の原民政府が支那の立場 し攻撃してゐるといふ齢末、恰も 東介石氏の原民政府が支那の立場 にあると同様な立場にあり板ばさ ひ明年度に於ては到底實現せぬもるが一般不急事業の線延方針に從 設度室が宜昌で反蔣の火の手を

使性腸胃カタルとなり

寺內中將招待 博士、今度は天才殿の頭見● 一葉おちずしても、いや天下の一葉おちずしても、いや天下の

たもロシャとしては硬化せざるをまりといぶ機動であるから内政的

が、動態方能下し以上の辨繁をコルーのであたが、動態を対しているが、ないではないといった ントロネルネルヴィンといふら

秋天に、浩然の類を確ふ外はある。近ちんと希ふものは、この好情の あすは日曜。あさつては彼岸の

ヘルプで武装せよ!

●…十月二十八日から十一月九日に直つて開かれる京都會議を前 日に直つて開かれる京都會議を前 では十日がの五日間を では、調査館中央理事會では十 では、調査館中央理事會では十

機械内閣の首

となつだ。之は博士の極東外

支那兵不穩行動

逃亡兵績出す

京都本會議の日程はそこで

聞 は電話四七六七番への不配達其他の故障 狼煙揚る

と結ぶと共に関西の食作相、氏とも連載るり関東を根據として反蔣の火の手を奉げんとするものとはすでに職立を覚討したとも解へられるが、張毅然氏の反中央行動には湖南の何健氏にしいまゝに軍隊の移動を行ふことを賢めて勉駿を解合を愛したのである、倘一默によれば張發张氏を駆力に集中し謝南省西部を通過して関東省に普選すべく行動を開始したので、國民政府は娶赞慈氏が 地域職を祭知せる製養館氏は移転命令に應ぜず、職職を官場下海 を推して武装を解除すべく場合行派職職、職職を武義に出議を推して武装を解除すべく場合行派職職、職職を武義に出議を開いる。 を強して武装を解除すべく場合行派職職、職職を武義に出議を強して武装を解除すべく場合行派職職、職職を武義に出議を強して、政策を解析。 兪何兩氏張氏に加擔

満鐵從業員の

教育程度しらべ

鐵道省に比して優る

書院長等が出席した

軍司令官檢閱

討蔣通電決定

更に張陵霊蛇戦命令彼せらるゝに及び愈々蔣介石氏の限状を列撃して悪氏討伐の檄を通常することに子、王洪献・朱騭青、潘麗庭氏等首脳部は連月佛知界某所に會合して姚策を総職しつゝあつたが今回 不、王洪献、朱徽育、清觀 【上海特體二十日發】張寶 以來國民黨左派は異常の緊張を示し顧孟餘、王榮

三千の社員中専門原校以上の

を本業した者が二千百名、中等 整校学業者でない者が二萬五千 を本業の整員が二千四百名、中等

中脈に取り駆除故院を施行すと地震を取り駆除が、無政病院、無数

員中に五千名餘の中等程度の

等の圏権業名あり。 等の圏権業名あり。 等の圏権業名あり。

は戦闘小獣校や親乃至修戦場者があららと、健衆情報

支那汽船徵發 **耳昌附近の航行は危險**

【美口十日發電】 張發至氏 親に英國汽船が十六日船をされた事實あり 製設を取は下江準備を急ぎ居

齢程進んである組織である 本類が至修業に向上し従業は 製鐵所豫算

秀氏(前直魯軍防備司令) 勘四郎氏(舞踊師匠) 同上書展氏(満纔社員) 同上

一十日一日を以て一先づお切った 本事務多忙のため確定の駿山観像 で一十一日は大平副職親及各選事 御所の第一回特別委員會は 廿四日會議續開 職を中止し二十四日の火

A都市職場州祖祭閣十三名は廿 一十二日入港香港丸で来連の答 審嗣根第一氏と共に朝鮮害氏(貴族院議員) 日露

大觀小觀

も対なしいかなる滋湿剤、滋養食の美味・臨門の内壁が関っき無れてゐるため栄養を吸 千金の滋養物

腸胃病には

▲信き 午前八時半垣 敬

一号天贴 十五銭 六六鋒 廿五銭 宮内省御用建 香柴桑養人 鳩 居 堂 以上ノ面へ現型二分 (神印) あれる 五十錢

御常用トシラ定部アル

「ハルビン特電二十一日数」ボグラ、満洲里の英後の駅況は極めてラ、満洲里の英後の駅況は極めてを低彩して別返すが、満洲里にてを低彩して別返すが、満洲里にては既に指導する駅の理解中である。

無圧であったが、午後浦州里 勞農機依然 示威飛行

要奎氏先づ反抗

満洲里へ

照酬されつよあることは否定し得 人民委員會の慰明の如き領軍の皆に緊張したものと聞るべく等 ac就談したものと取るべく外の来り上げ た確支の関係は

、學生の作品

教育會記念展中等學取

のみのところをのぞく

フおよびサ

育館的二十周年記念展覽會

明日から記念展

朝から搬入と準備に忙しい

四

で告訴された事件は廿一日佐賀 職出クシマラより猥褻誘拐名書歌 は佐賀縣薩津郡駅田町大字大草野 は佐賀縣薩津郡駅田町大字大草野

日 時等戦に入り入済後、二階休憩室の返すが如く態度を襲へ同女とのとなると掌をを情景し同女と通じて終ふと掌をを情景し同女と通じて終ふと掌をを情景し同女と通じて終ふと掌を

昭和電力の

、調生を出し

疑獄取調

たまさ

れた女

か

商業の先生を告訴

郷里の温泉で貞操を蹂躪さる

大連檢察局へ移牒

方裁判所から大連地方法院検察

知機夫は歸任後同月二十七日附を

ぎと情交してゐるからお前を要自分は五ヶ月前より女中中野サ

【東京二十日發電】 鮑町有樂町昭

常勝軍勝つか

覇權は何處へ

興味をそ」る顔合せ

あすの全滿籃球大會

アジを経野温泉に勝ひ出し温泉 したと云ふのである時でする から覧女も郷里 る音格を軟いである。 ある音格を軟いである

上で同じらする関係上告訴人ッジカの際番子となつたが、その後をカが死亡したので實家に復鑑し郷が、その後をカが死亡したので實家に復鑑し郷が、その後を対が死亡したので實家に復鑑し郷が、その後を対した。

し触り甚だしく同女の名譽を毀損なる資格を続いである」と公然り外

會場は彌生高女講堂

雅克石附近で集團馬賊が掠奪

各地に頻々と被害

藤間師匠歸る

版と見らない支那長が正規軍にる はれ盛んに掠撃をせるが、元服宗 はれ盛んに掠撃をせるが、元服宗 はれ盛んに掠撃をせるが、元服宗 札袋公司のまぐさ乾草三百呎スコ もので地方民は懺まされてゐるが

郊外の酒屋に

四人組强盜

鐵棒で毆打した上に

山東旗揚げ餘燼

露人が支拂ひ要求の

説諭を大連署に願ひ出づ

常時歌加した歌戦士官に支援ので ノフおよびサテーエフに渡し族揚 が出した歌戦士官に支援のな場合 **残金を所持してゐるので態宗書は** 屋を手附金として支出したのみで のみで り蛇蝎の如く縁はれてゐるその惟妙書は親人として各地にあってりがいる。 役割から

フおよびサラーエフは張宗昌よりこの通牒に接し再三メルターロフは哲をに談判するもメルターロフは哲をに談判するもメルターロフは哲をに談判するもメルターロフは哲を フーエフは張宗昌より る、殊に無間流の出し物「乗合」 り照然師だは、整しで設備の意を表示。 もたので表面概まつたが今度は出 したので表面概まつたが今度は出 したので表面で、まつたが今度は出 ので表面で、まつたが今度は出 ので、まので、まって、まつで、まって、まつで、まって、まつい。 を表示。またが今度は出 また波瀾

中安麻物場の中五十頭に強いて地震があるとして沙場にて十日より管内の全物場の乳中に対して沙場の乳中に対して対して沙場の乳中に対して沙場の乳の中五十頭に強いないとして沙場の乳の中五十頭に強いがあるとして沙場の乳の中五十頭に強いがあるとして沙場の乳の中五十頭に強いがあるとして沙場の乳の中五十頭に強いがある。

吳光新氏家族

全滿射擊大會開催 全満各地より五十一團體 於市内春日池市民射撃場

大、勝月と北村の窓校にのみ振り生、勝月と北村の窓校にのみ振り生、勝月と北村の窓校にのみ振り生地で観点したので同日からは一日出観のうちる丸で襲東したので同日からは、まるんと北村の妻子が代標。 が藤間氏と師究の間柄である陽係 主役は湖月のおゑん、北村の愛子 主任は飛事職を記事して現場に急 守屋女史が 近~來連

婦人和智主銀千本木道子女史・人服風舎の社会部長守屋東女 者所で講演■ ・ 会部長守屋県女史と 事件に関連して富山縣會職員累計 事件に関連して富山縣會職員累計 たが、戦趣廳に過送さる、等であ る石は昭和電力と木林會社との間 に立ち贈收服の勢液をなしたもの 家を受け會能機御其の他を機成さ 調べを受け同時に同本社は家宅機 調べを受け同時に同本社は家宅機 は家宅機 お正という。 大面旅行中で氏の脚京を待ち戦場 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 。 でい 富山縣議引致

神二中の聴育場を使用すると、 総を申受け、若し雨天の場合は大 がら一名十銭の入場 ○、協当日は中等歴生の歴館入場 一中、大連二中人る、協当日は中等歴生の歴館入場 一中、大連二中人

籌室、社會進慶の第一條件 九月二十七日午後七時青年會 右社會襲主催

午前から

は 特者は右郷間までに抽籤祭と引換 特者は右郷間までに抽籤祭と引換 に対したいと

二、抽籤日は二十八日午前十時開五時まで

厄險な東支鐵沿線

馬賊と支那兵に惱む

浦鐵で各府縣 八日午後三時中青年 史

の視學を招聘

連十九日出版の香港丸で廣楽の管職保者を撥然し非常な好成識等を吸めて居るが本年も符合緊急等を吸めて居るが本年も符合緊急等を吸めて居るが本年も符合緊急等を吸めて居るが本年も符合緊急等を吸った十月十六日産

電地に招かれた瞬の卸圧機制 ・ 関氏は二十一日出帆のうらる丸 で一先づ輝京したが見激りの大 でである。

大連者野町名古屋遊館かた山田重大連者野町名古屋遊館がた山田電館である中で、九五豐端館の大連者野町名は支る十かた村田電館である。 で大々的にマーケット開催すると服を始め薬所用、子供用品嶄新な服を始め薬所用、子供用品嶄新な

九四番戦(電五一四人番)こままた成したので二十日新築の山縣通一四洋行紙店主吉田竹三郎氏は山縣田洋行紙店主吉田竹三郎氏は山縣市田紙店移轉・大連市浪速町吉田紙店移轉・大連市浪速町吉田紙店移轉・大連市浪速町吉

Ġ

無一文のため支機 無一文のため支機 の調整に行くを稱しその優強走、 の調整に行くを稱しその優強走、 個大十銭の無銭遊興を行つたの で二十一日大連署へ告訴、山田は 直ちに別致されたが村田は逃走し てゐるので目下捜査中 施製 日を都合により左の如く延期 第の音樂祭と抽製祭の引換期日及 第の音樂祭と抽製祭の引換期日及

格賣價

の追從を許さず秋向冬向最新流 京品代リ 御一人樣一反ヅツ 自新モス 同 壹圓十錢 一反金五拾錢年注賣出 特別見切品 正大の手項 ほり出し物つり切澤山あり

十十十十十十 六五四三二 日日日日日

磐城町映畵館新築場C元男城ホテル前) 神山吳服店縣出張店

本店 京都市五條通室町 入北諸西**被**濃信阪大 店スンタ服洋岡上<u>計</u>曾 前倉敦町蕨末田神京東

智丽林 午前九時より十二時まで

生れ て始め けふから寺見溝に入つた

= +

明来るわく、目の見べない 明来るわく、目の見べない 明来るわく、目の見べない 明来るわく、目の見べない 明本ると云った人々である、赤十字配病に入って洗見町派出所 で裏事無暇着にトンく、かくて明二十 に大連を中心とした支 かよると云った人々である、赤十字配の窓側施憩をなし二十一日 で説の窓側施憩をなし二十一日 で説の窓側施憩をなし二十一日 で記事に入って洗見町派出所 で裏事無暇着にトンく、かくて明二十 に病人を見てゆく、かくて明二十 に病人を見てゆく、かくて明二十 に病人を見てゆく、かくて明二十 に病人を見てゆく、かくて明二十 にったが、大いで老虎難から はい、小で島、黒石鑢と支那部薬を のことでいる。

から寺兒藤に入つて沙見町派出所 那部窓の巡回施療をなし二十一日 那部窓の巡回施療をなし二十一日

上ました特に品質、柄行を吟味致 り良き物をより膜と低をのみ目標と

見 切

十五週より各種十五週より各種十五週より各種

三日より二十七日まて

これこそ真の消費經濟 大連市浪速町四丁戸

安かつう・良かつう

能は二百萬元の發行を贈し交換す

本年度

の特産資金

移動は大體順調か

大體において昨年度と同様の貸出し行はれん

TOKUTAICO., LTD

岩狹町交番隣たばた高中

一灰九圓五十銭一升三歳で見出しました何器でも飛行式にお回けいたしますから是非一度な試し下さい

新型、麻雀、實石、象牙、金銀細工 同常店にて御買上品がお無に召さぬ場合は何時でもお返 大連市響源所士番州(電話人間よれき)、 大連市響源所士番州(電話人間よれき)、

店内が使くて御客様の御棚覧を最迎致します。
見分ける方が至って少くない故買見分ける方が至って少くない故買 大連唯一信用あるヒスイ店

() () 설명 (*) 등상 (회



進內容見本

閣 Q

111

平民をも好んで加へたからな人間實配といふ事を得る

始めて

たから宛然一大線史研究所の翻が一列して見る事を得る。

因由に疎であるのは遺伝の関民として世に立ちるの関民として世に立ちるのは対けるべきの関氏として世に立ちるの関氏として世に立ちるの関氏として世に立ちるの関氏として世に立ちるの関氏として世に立ちるの関氏として世に立ちる 堂々他の全集を壓 8 9

味ふべきが

予摘出し、

り指針たる偉人傑士

0

他である

遠に本全集の

する類例な

内容の盛観を見よ。

3 (巨 6 5 北 匠

ま E E

す高鼻

近

基礎を築いた祖先の億十建國以來三千歳この光度 滿天下 ◇森 殿 難辛苦の跡ほざ、 べ 0 き一大夏書の刊行! 歴史あるも忘る 書子に ものはあるま 業蹟と、 献

刊新

遞信官·

受歸講

義錦

構造一計算一

代進星

東洋遞信學會

がある歴史の下に、盤石り たる國家を建設 力を養ひ以て第二 さい。その足 其の流血の

一句も尊重して洩らさず摘出し、日本文化の鼓達心積年古今萬卷の群書を渉獵し、其の文献の一言面して、著者は其談博なる大衆的史眼を以で、苦香や正に自己反省に入るべき秋、國家思想難に直 殿味ある。 カヤ 北線袋(口納より)

者建建命

るまい

2 大阪 男女とはでん(石田) 本の野とはいいりる(株式) 大阪 とはでん(石田) 本の野とはいいではないないである は、 本語のは、 一番のは、 一番のは、 一番のは、 一番のは、 一番のは、 一番のは ・ 一番のは、 一番の 談の幸不幸法 知ると

の家に住むに限り、一高大 櫻井 張

(人相)櫻井大路

宗像建築事務所是宗像主一人與由縣里町六七

調鉛仙 た間の間に上口田 大間の間に上口田 枚子の趣味…林 震動の夜の客間、 めの 塔…… こだちら向いて: 識勝塚取婿取

菊池

▲嘆きの都(場)中村武羅夫

被(煙) 菊池

幽芳

▲天草美少年錄(殿里) 佐条味事!!!

九條武子夫人(據) 山中峯太郎

0

城(韓)加藤 武雄

佐々木邦

| 緑衣の聖母(製) 長田

男の病を手術せずに治す法(報報 一やす法ととと | 一大の方の種を表して、等 | 一大の方の種を表して、 一大関で 技毛、等 | 一大関を 出る |

人。開運法(蘇)人十月上結婚以良歌以

〇〇〇〇 疫跡デ乳 フラッ胸 根炎ア類 命とり病の から見た父としての大臣 と手當色々

食養法と漢法治療の座談會 附法(長谷川しげ) 孝女吉田壽子 尊敬了。婦人 な人々でせらか漢人必識! 六夫人が御敬さる」女性は

分をよくで食物の選b方 館の病薬と其の豫防法 生む胎教廿ケ條下田間も 身様の重質記事 ▲ 初秋の投入 · 盛花 · 生花 ▲名士家庭の晩餐料理

斯なし妻は夫を出世させる一環にないない 心機一轉幸福に暮らす法一議議議員人の職になる と満毛の手當豫防法は大国なお歌のいたまる ・妖好・してならぬ、妖好「歌るい家庭の母も方弥響

◆ 色金波縮緬紋付羽織 ◆ 上 一 枚 製 一 一 枚 製 一 一 枚 製 一 一 枚 製 一 一 枚 製 」婚禮座談會 時祖的か〇無羅式の改良等外數項に可能の住職〇種的中の交換法〇個静

一壹千圓調度 ◆ミシン 機 械 一臺 ・輸・笄・根掛・玉響 ・金波縮緬 訪問 着 ・金波縮緬 訪問 着 全部 進呈!! 語で 語でも出来る。 早く御らん 下さい

七百圓調度品は居殿太居みどり横選擇電千圓調度品は原の銀際の銀藤田属佐子様選擇 五百圓調度品如鄉 三百圓調度品於原 **鄭田中路子樣選擇** 順小泉芳江樣選擇

懸賞

清洁◇蘇大日本雄辯會講談社◇鬱雪山◎

勢神宮遷宮式繪卷

近することとなり、

てゐた各軍に武漢銀中を命じ武漢地方は遊に緊張し來り近く火藍が切られる模様である、皆げてゐる、武漢常局は昨夜から特別武敵令を布ぎ夜間十時以後のな通を一切禁じ京漢沿線に散在して漢口二十一日發電】張軍の歌聞部隊は陝西より湖北省境深く侵入し早くも結州に到着し形勢急迫を 形勢急迫を告ぐ 武漢には特別戒嚴令

京二十一日愛電」縣、歐、唐、朱維蘭、惡統奎、劉徹芬、 反蔣聯盟の聲明書 で一に戦命し其の襲夷を戦撃した。 を襲したが、國民政府は各省政府 はのではの通電

監禁せらる 日南京に於て

らずに離京せんとした遠郷司令部 試験は極めて好成績であつた方は部下が既に事を挙げた事を知 は之にで終了したが當日の列車除したこと判明したによる。即ち 列車で備京した、臨時師職長台 満洲未曾有の

本宮剛殿下三長官軍事金を関いて、大田の日にも知らず間にあれている。 師團長會議了る

第の寓居に俗世間と交跡を断ち 【天津特僧二十一日殺】 天津日本 段祺瑞氏重態

何分老職なる身が日に二十餘回の断に嫌れば赤痢なる事判明した。職に嫌れば赤痢なる事判明した。

教育大會

今日旅順において

地演習御祭加のため二十二日午で愛知縣下に於ける陸軍大學實

共産黨の賀龍軍と連絡 州の外野流の砂響、中等要校の底。 特別の対象が、就製の如く今回は特に教育功 が、既製の如く今回は特に教育功 が、既製の如く今回は特に教育功 が、既製の如く今回は特に教育功 校職員を初め其他教育關係者實になってゐるので、命會は州內外學院教師合等も併せ取行はるゝことに 支那の水路開墾事業を援助するこれ 大寒オット、フランチウ 路事業の大寒オット、フランチウ ノーヴァー工科大學教授にして水「ベルリン二十日製電」ドイツへ

上海佛租界で

共產黨暴行

▲配念式 ○一期日九月二十がその日程は左の通りである ▲總會(第一日) 開會午前十時四 (場族順第一中學校(三)開 三井三劉等の銀行會社の密集せる「に礪頭に並ぶ倉庫を襲撃せん」百名手にく「披蒙等の別器を撰く」で電車数索を滅べ苦茶に映懸百名手にく「披蒙等の別器を撰く」で電車数索を滅べ苦茶に映懸っませい。

大々的教育大會である

十三日(二)會場族順第一中學校總會(第二日) (一)期日九月二 午前十時〇二

に論職されて居ますが、 成り忙しい旅行でした、 成り忙しい旅行でした、

午後五時(四)閉會後選回動場博物館コート(四期場博物館コート(

奉天軍更に

第三次出兵か

國際聯盟空軍案 専門委員會を組織

人るものとして注目されてゐる。而して本間顯考究のため民間飛行家より成る専門委員會を組織すする目的を以て國際空軍草案を準備せしむべきとを決職した。右は艦々國際聯盟空軍設置の第一地『ジュネーザ十日發電』 國際聯盟軍権委員會は本日の會議に於て佛代表をして、 大期聯盟總會に選「当 愈よ創立された **州電氣協會** 昨日満鐵俱樂部にて總會 正副會長理事等選任 和會館前に於て記念撮影後野総でしたが出席會職七十五名年度の乗算承職を可決して同郎氏ほか四十三名の承職及昭

とになるであらうと云はれてゐる

金が開催され ・ とり七級まで)及個人会資 (本 ・ とり七級まで) 及個人会資 (本 ・ なれ四時より同意場で配金数細則が成 ・ で、 ・ のので、 の

つき中村電気に及り、

局長櫻井學氏、阿滿電副總藏大平駒祖氏。即

な發會式

ヤマトホテルに於て

の如き法許を述べた。大きに親静に移つて陽東長官(韓田内 独局長代代書)消鐵線裁、岡清線理事代書) 大連市長、旅順工科大學長、大選 市金融所會頭、朝鮮趣信局長(代語) 大連市長、旅順工科大學長、大選 事の開会の際に文で櫻井歌館長は水がぶるところあり、大平僧長は大郎の場合の際に文で櫻井歌館長は大郎があるところあり、大平僧長は大郎があるところあり、大平僧長は大郎があるところあり、大平僧長は大郎がある。

は南浦に駐近してあるよりは月融 は南浦に駐近してあるよりは月融 は南浦に駐近してあるよりは月融 は南浦に駐近してあるよりは月融 は南浦に駐近してあるよりは月融 は南浦に駐近してある人 は東京に は東京に は東京に は本名よりは月融 は本名よりは月融 は本名よりは月融 三萬五千餘の遼東省 の精兵が東支治職に の精兵が東支治職に かし地方民は安心だ

・ 十一月 ・ 十一月 ・ 大四二六九 ・ 大四二六九 ・ 大四二六九 ・ 大四二八九 ・ 大四二八九 ・ 大四二八九 ・ 大四二八九 〇不不一四六七後 八八〇七二七場 二五四九引 〇申申〇〇〇〇 満蒙開發に貢献 聯對最高位入選 山岡發動 せら カエ川

親一同非常に愛蔵して居るへ「【書天特観二十一日配】腸内財化」の何頃往および于學忠附氏は果は稍小腺を得て居るとはい 支那側の無誠 獨逸仲介を指 が、或はドイフも仲介の劈を呼が、或はドイフも仲介の劈を呼がられずと一般から出目 他し全く支那館の無誠意なること 形に しまく 支那館の無誠意なること 駐奉領事士 不國に報告 日来、張摩良氏と打合せの結果、
一ヶ旅づつを輸送する管であるが
一ヶ旅づつを輸送する管であるが

『奉天十一日後』 熟河にある湯玉 『奉天十一日後』 熟河にある湯玉 『奉天十一日後』 熟河にある湯玉 『本塚に駐中の第十七底を林西、赤塚に駐中の第十七底を林西、赤塚に駐中の第十七底を林西、赤塚に上決し紙に第十七底を移吐することに決し紙に第十七底は移動。 熱河軍の移動 長春支那學生

官補高等法院檢察官職地方法院檢察

題員の二

「古林特電二十一日教」常地中等 以上整校は古林反響市民大会に先 以上整校は古林反響市民大会に先 以上整校は古林反響市民大会に先 以上整校は古林反響市民大会に先 以上整校は古林反響市民大会に先 を以て討論後接続を組織し、午前 を以て討論後接続を組織し、午前 を以て討論後接続を組織し、午前 を以て討論をは、 中前 を以て討論をは、 中前 を以て討論をは、 中前 を以て討論をは、 中前 を以て討論をは、 中前 を以て討論をは、 中前

▲橋富士松氏(内外時事新聞社 長)満州を親祭し終り二十五 日發にて上海より南京へ 十一日大連九にて備業 十一日大連九にて備業

温保(授込七三1〇七三1〇 大豆(標物 出来高 二車 普通大豆(出来不申) 豆 粕 二三七五 出来高 四千枚 出来高 四千枚 出来高 四千枚 出来高 四千枚 出来高 四千枚

科科科

毛皮羅、染、色 陰豊田洋行機

一月限 计型 1170位 11700 1170



紅文房具店にあり ルーシ級封いに実 すまりあて(付)添 商

綱紀肅正 ムなり近く赴任の響である 徹底要望 るを全を開いて■け付けた支那艦 もの十二三名鑑揃された、支那艦 は不安に補たされてゐる 點檢實施

東京二十一日設電 別へたる資 職事件の暴運に對し日本大衆黨は 景では、一大衆黨は

せするす

事館の各書記生および土屋旅艇高等遊院長、各部長、森本大連増方等遊院長、各部長、森本大連増方 無領事館、奉天總領事館、安東領部計事館、安東領部が開催するが出席者は哈爾賓合館を開催するが出席者は哈爾賓合館を開催するが出席者は哈爾賓

電車數臺を破壊す

打合會新民訴法實施

單式が多いやうだ

一般に

市場は

在 本は主臘の郷鮮埠覧會職光嘅はそ 一回配売感を組織し、今二十二日 を加工・ の組織計画を設表して以来総ち費 ・ 年前九時大連摩製魚行にて農井本 の組織計画を設通し、申込締切り後も 計画影響の下に京城へ出要すると としなった、なは第二回第三回の としなった、なは第二回第三回の としなった。なは第二回第三回の としなった。なは第二回第三回の としなった。なは第二回第三回の としなった。なは第二回第三回の としなった。なは第二回第三回の としなった。

朝博見物に 今朝出發 本社主催第一回觀光團 する

職職を市内一種に助付けた、又会 等大いに無勢を挙げたが、隣近中 に変勢を挙げたが、隣近中 に変勢を挙げたが、隣近中 に変勢を挙げたが、関近中 に変勢を挙げたが、関近中 に変

祖徳して出頭さべく記載してゐる

出來不申

二一枚

高級

昭和四年九月二十五日午前十時半

遺族ノ方ハ大連市役所庶務係(電話四〇〇秋季招魂祭々典執行ー般参拝アリタシ

大連中央公園忠靈塔前

ないが、かないないが、か

の大部分は下水の汚染を受け、其の服布に使り消化器(服装等の銀穴、 の服布に使り消化器(服装等の銀穴、 大を観れあり一又計画は「一度テ たを観れあり一又計画は「一度テ たを観れるり上又計画は「一度テ

日

歴、その外國といへば、まづ日本 側も彼もが、ことごとく外國の抑 何も彼もが、ことごとく外國の抑

観光團犇めく

油が乘つて來た朝博

場内の設備も完成

H

日本人請負の

工事に中止命令

英商にやらせる肚か

不法な吉林公安局

居る。その下には、排日を職業とせしめやうとする常智の野心家がせしめやうとする常智の野心家が展開して、自分方の勢力を有利に展開して、自分方の勢力を高利に展開して、非日様間の心理がある。

牡蠣とチフス

各国に於ける取締法 と幾街した。

1 上氏に命じて研究させたが、氏の ・現告は収締上可なり戦重な要求を ・現出した。

上は一本版なる態度に動きして立つたの 一方例画政府は自國の社場で記 が変として極めて消傷的 である。 一方の態度を執った。政府のこの優柔

表記 で、テスと牡蠣の関係を研究して要表された京大衛生教室の乃山で、テスと牡蠣の関係を研究して知られた で、テスと牡蠣の関係を研究した。 この 一般に依るテフス

大に問題となるのは、 されたこのチフス関が、エ されたこのチフス関が、エ である。 万山氏は七日間

るやった

事實上全國联合の入荷祭止を意味し、一九一六年以降は再び蟹の概勢に依る飛低法の研究は成功の成型とと吐鯛の處理法と吐鯛の處理法と吐鯛の素物を興へた。 特別の海線の海低法と吐鯛の素物を興へた。

下水と共に都木中に放送された チフス酸は一定期間の生命を保持 かあるが、刀山氏は約一ヶ月と概 があるが、刀山氏は約一ヶ月と概

十日間、ボルドニー氏は九日間、 ウッテル氏は六日間と云ふた。 総さる牡蠣の監内では、一旦設入 したテラス酸は着るしくその生存。 地間を延長する。設家の監験は何 生活牡蠣の監内では、一旦設入 生活牡蠣の監内では、一旦設入 生活牡蠣の監内では、一旦設入 生活牡蠣の監内では、一旦設入 生活牡蠣の監内では、一旦設入 生活牡蠣の監内では、一旦設入

賃家 崇楽高等住

健慰登慮熱病 康家育弱性後 増の全婦病の

貸衣 裳瓣礦用

言語の記述

治療法

一九一三年後等は帰國治学の高端と相関であった。 一九一三年後等は帰國治学の資調を駆けた。そしてこの解析を対する。 を関すたといふからの活動と相関であった。 を関すたといふからが、であったといるからが、であったといるからが、であったといるからが変を受けて居るずでを関すているが、であった。 本としてこの解析を関する。 を関すたといるからが、であった。 を関すたといるからが、と目のであった。 を関すたといるからが、としてこの解析を対する事を禁ぎられて居るずのやに、 が置いて居るずのを関して、 ないるのが、であった。 を関すたといるからが、と目をのを使して、 を関すたといるからが、と目をのまた。 を関すたといるからが、と目をのまた。 を関すたといるからが、と目をのまた。 を対する事を禁ぎられて居るする。 が、であったといるからが、と目をのまた。 を対する事を禁ぎられて居る。 を対する。 をがする。 をがなる。 をがななる。 をがななる。 をがなななななななななななななななななななななななな

14:0

は水中

一例として帰國社会製練生法会に、重大なる関係を有して居る。 に、重大なる関係を有して居る。

世 提丁 和傘間屋、膨脹堂大連岩 ・ 大野五番地前川商店 ・ 大野五番地前川商店 ・ では、 ・ では

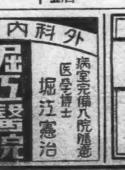
牛乳 なら大正教等 一手 ロバン 電話だ六六〇 一 漁湖町 丁目裏通 日曜洋行

国来数十種あり御高観を乞ふ 大連市西通一一 大連市西通一一 大連市西通一一 大連市西通一一 富重



取扱









大連市吉野町ニ五

二八町濃信市連大 三三話電 出り

IF

·師削藥

日本が存する限り、支那が存する限り、支那に排日なるものが消る限り、支那に排日なるものが消をした。 たい。 が、われわれ日本人は、そんな風が飛び立つたやらに薄くものでは、あるひは別して、またはない。 が、しかし、馮爾大學とやらの製生共が、義勇軍を組織して繰り出したば宜しいとして、それをり出したば宜しいとして、それをもから高されて何とも申しやうのない太第である。そばずえも、ことに至っているさきである。 官製の排日

利益するか

支那有識者の 反省を促す

排日は支那

加

がしかし、どうしても様ならぬと思ふのであればそれを明白に示しればそれを明白に示しればそれを明白に示した。

投書歌迎 は内のこと

命も其れだけ多くなる。

満

日案内

滿洲

H 報

である。支那革命の父といはれる は、一次のは、わが日本の庇護を受けて は、一次のは、わが日本の庇護を受けて は、一次のは、わが日本の庇護を受けて は、一次のは、わが日本の庇護を受けて は、一次のは、一のは、他理中山で は、一次のではない管 になった。支那革命の父といはれる は、一次のではない管 になった。 は、一次のではない管 になった。 は、一次のではない管 になった。 は、一次のではない管 になった。 は、一次のではない管 になった。 と物語る何よりの設態ではないか を物語る何よりの設態ではないか といれる。 を物語る何よりの設態ではないか。 と物語る何よりの設態ではないか。 合方面からの

那側に、どうしても排目をせねば、からぬ理館があるならば、われわれはそれを明白に示して實ひたいのである。がしかし、今日までのところ、いまだ虫が舒かぬ、痛快だ、ぐらるの外には、職業的の排だ。ぐらるの外には、職業的の排 文 それを襲戦や誤解、弱いるのよ鉄 新心などから、一時に感情に動かけ され、間間的に、一にも二にも排 りとて、悪の骨頂、他を傷け、自 ちを破る狂氣の沖汰といはねばなる ちぬ。前言した通り、われわれは 支那の方々の様日を敬てする心理に動しては、充分の同情を持ち得に動しては、充分の同情を持ち得に動しては、充分の同情を持ち得に動のであるのなでなく、つびには慣に おるるものではあるまいか。心が と 日が恐ろしいとか、うるさいとか のためばかりではないのである。

牡蠣に就て

有の窓跳將電話などは総中の後で あらら▲見たことのない記者にも 別らぬが窓跳將軍を先頭に疲豊物 外のだといふ▲呼物の博多のドン をのだといふ▲呼物の博多のドン のだといふ▲呼物の博多のドン かな大帝編。二十五種の樂器を一 人類が楽晴らしい。ドイタ人の鮮 人類が楽晴らしい。ドイタ人の鮮 のよこを は、 のでは、 のです。 は、のでは、 のです。 は、のです。 は、のでは、 のです。 は、のです。 は、のです。 は、のです。 は、のです。 は、のです。 は、のです。 です、 が、のです。 は、のです。 です、 が、のです。 です、 が、のです。 が、 のです。 のでで。 のでで。 のでで、 のでで、 のでで。 のでで。 のでで。 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 の

本 はかりではなからう。

「はかりではなからう」

一大学に要作 と親てよい・小麥の如きも一時七分作を傳へられたが割合に其後のが記録には、大変を加まる一時七分作を傳へられた数を強ったが割合に其後の形況では、大変を強してあるが、最近は一方の三種に分れ甲は丁萬、乙は十二萬、丙は八萬の各官帖を強化してあるが、最近十二萬、丙は八萬の各官帖を強力してをらぬるが、最近十二萬、丙は八萬の各官帖を強力してをらぬるが、最近十二萬、丙は八萬の各官帖を強力してをらぬるが、一石に付約二萬吊女の取引ができるによる建値が市場に現れてあるが、一石による建値が市場に現れたけるを強力を表してあるが、一石による建値が市場に現れてあるが、一石による建値が市場に現れたけるとしてあるが、一石によりを強力を強力を強力を表してあるが、一石によりを表してあるが、一石によりを表してあるが、一石によりを表してあるが、一石によりを表してあるが、一石によりを表している。

求賃

東公顷町七〇電電

チャマの伊は

了三四五

大連市浪速町持田順天堂朝鮮總督府官製

電話八二〇三

貸間

二階六十二個

二八五番

淋毒 性墨丸炎 鍼灸

療治御肝みの方は

電話四六二九番

獨身動人に貸し度し

1トのダリバン酸」 新報の如くソウェ 東京では、東るだけこれを回数あり、防御には百五大十で戻定したが、支那時には百五大十で戻定したが、支那時間にはこれに対して反対的の難抗運動を試みんとする。「一個工及經濟保を被避力は、10世界の記事を機能である。「一個大学、10世界の記事を機能であるものがとする。「一個大学、10世界の記事を機能である。「一個大学、10世界の記事を機能である。」 「一個大学、10世界の記事を機能である。」 「一個大学、10世界の記事を機能である。」 「一個大学、10世界の知道、10世

に

「大阪神」の

「大阪 海倫方面 運輸主任は同地方の狀況ン發」呼声線海倫駐在の 農作物は一帶に豊作 輸入品の需要増加か の現況

代である、唯問題は昨年とも必要がよれが禁止のため青田寺がよったので同片を栽培したよる必要がなくなつたことも

貸金囘 に飲出しをしてゐるので今直に回までを映像期間として論等しても る既を知つても到底時局院不能であ するのであるが、これがために支那 であらう、從つて東ッツバッタに動 であらう、從つて東ッツバッタに動 であらう、從つて東ッツバッタに動 と、因に極東銀行は今後再び開店 と、因に極東銀行は今後再び開店

商が大に困りて

八志士弔魂祭

女給 さん至急入用 浪速町では大人を終 一丁目では大人を終 一丁目 君字 連成教授監夜 さん数名入用 用本人來談選三七五三

邦文 タイピスト短期養成 通 日本タイプライタ會社 作前、午後、夜間 午前、午後、夜間 電八六七五

西公園町六九 樹科醫院 **薬及治療**

內社

金庫間

ラデ オは何でも 山形洋行 電DOIA、公公 山形洋行 電DOIA、公公

大連警域が通五八 南海堂眉山 大連警域が通五八 南海堂眉山 大連警域が通五八 南海堂眉山 大連警域が通五八 南海堂眉山 常工会 池 都 電三三六四 治修理 常整複 治修理 常整複 **東小**身東局

お灸

語四〇二三へ 語四〇二三へ **純** 西廣場側伊勢町九〇

門札の瀬戸跡へ彫り込み門札の瀬戸跡へ彫り込み

東郷町十六(補州ホテル北八町目) 銀が易聖の名を輝せし 銀が易聖の名を輝せしのみ 直路地斯法は本所主外 直路地斯法は本所主外 一番が易聖の名を輝せし

ミシンと著音器は

女給 八用十八歳より廿五歳迄 二三名入用本人来談 二三名入用本人来談 明 祖亭:電三四五三

ミシンは常根機

人 多大收入確實明治町一人 多大收入確實明治町一

哈爾賓で決定

電五五五七

各所 電話領收置 電五五五元 電話

では、一大温を内証の

铣古军

小鳥エサ器具一式帳費 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西 大連市西通久トキャ編、西

山

附近の山

村

中流以上の倒産

哈

月四日

約十軒を數へた

仲秋節決濟の成績

・北勝長哨旋寒台を置すがそのアー後大時から華天公會室に於て第二 聲會演奏會 無数は四面を閉ざし雨は流然と映 れば晩暖である。山僧も共にし頂 た上正版の夜は解験であつた。様の 上正版の夜は解験であつた。様の

皖南旅行記

天臺峰登り(沙

を限ましたが午前三時でもしたがら點島の鳴りの騒が 買するを得なかつたのは残念で心 たので旭日昇天の保殿の光景を観れてので旭日昇天の保殿の光景を観り 船とする。動は歴上

で決定してゐる點腳體は左の 郷投稿サ七日振順往復同本名、廿五日安奉線にて来る、廿五日安奉線にて来 七日來奉廿九日撫 朝鮮博見物を機會に 天

第舎長池田藤四郎氏であると がおるが講師はエフイシェンシー が含長池田藤四郎氏であると

町の

便り

國長 同上

廿日安聚録にて内地

四十分來率十六日無順へ東歐雲務局長 廿五日午

王催實業視察團

市内紅梅町十番地に住む王奉子と は十九日午後六時五十分頃拳大の は十九日午後六時五十分頃拳大の は十九日午後六時五十分頃拳大の は十九日午後六時五十分頃拳大の は十九日午後六時五十分頃拳大の したといふ率天奏町で やとなり直に附近の臀師を揺き騰急 地あたりを摂立したので 手書を騰したが認に蘇生するに至 あつたと

中五名と合せて九名、定員八名小野院長を始め四名の候補あり

が無く矢張り結局は一人の落選者機補脱もあるが、倒本人に一向難 出す事にならう 選過党之助、宗石・島大等のか 選過党之助、宗石・島氏等のか 第一人でも道件れを外くする。 一見を救ふ

(+)

り太白書院に至る、今は荒断し内 を出していけないと明確を出していけないとと生生の間は園野が中つて来て此の間は園野が来と生生のでも向けかれまじき棚が高ったといばれるのでも向けかれまじき棚が高いて居る、ことを出て、大きのでも向けかれまじき棚があったのでも向けかれまじき棚が高し、大き出て、大きは、大きないと生き棚があった。

九名立候補か

してこ

は大変は歌響期日の選近に伴れて 地方委員歌響期日の選近に伴れて 山田小野兩氏既に 一般表があり、之れ 提灯候補者擁立説あり 地全部の検査日本る明日は休み 満鐵の努力奏功 会部及織道全部の検査が 豚の品評會は好成績

の四氏があり、それに補鎌側から とも常然立候補の人と見 、末廣榮二、田中職

十八日行はれた 商議常議員選舉

安東西工会職所常職治選事は十八 中後四時投票を総切り、直に種/ 中後四時投票を総切り、直に種/ 十五分完ぐ開票採証を総つたが、 十五分完ぐ開票採証を終つたが、 十五分完ぐ開票採証を終つたが、 中川憲奏、職工者の新館が迎へられた り総局力名の新館が迎へられた 中川憲奏、陽田菊末郎、原田市松、 中川憲奏、陽田菊末郎、原田市松、 市川六平、高橋貞 一、職ノ口乗太郎、原田市松、 中川憲奏、陽田菊末郎、原田市松、 中川憲奏、陽田菊末郎、原田市松、

ラブられ艦派せんとするM つて昇降口に掴まつた機会 危險な飛下山 公主嶺

松田拓相鐵鐵通過時類は左の加松田拓相着期(群河凱祭

人質を拉去 (当) 同者の感相。 個級大良日く職の四九銀は酸しい手で飛いても後手を引かば自然に機會を強するを以て先を取りつゝ玉に迫る意味ありて手順なり。下手四九銀と聊く胚迫を加く先に五尺線ナラズと飛を取ると五三柱成と指され四三柱の打込みが酸しくなつて危機です。これに共五同線と取つて自重した。 大崎八段 神武川 上手二五柱は飛を横柱にして過激の如く見ゆるも後手を引かば自然に機會を強するを以て先を取りつゝ玉に迫る意味ありて手順なり。下手四九銀と聊く胚迫を加へ先に五尺飛の活用を作りしはよろし。

地下工場休業のなりと

一田の2月をする信息

一田の2月をする信息

一田の2月をする信息

一日の2月をする信息

一日の2月をする信息

一日の2月をする信息

一年の東方十支里居住農農販方に

「特別ので料土連の期代を裏切ったの所能

「日日の1月を17名名

「中では、一年であると

「中であるが、今回美人を覧入としてかると

「中であるが、今回美人の原産地名古いので料土連の期代を裏切ったの所能

「日日の2月を77名名

「中であるが、今回美人の原産地名古いので料土連の期代を裏切ったの所能

「日日の2月を77名名

「中であるが、今回美人の原産地名古いので料土連の期代を裏切ったの所能

「日日の2月を77名名

「中であるが、今回美人を覧入としてから、「一等を成成、「一等発金方、「一等雑波」いので料土連の期代を裏切ったの所能は、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数より十七、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の数は、「一大連の表は、「一大連の数は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の表は、「一大連の数は、「一大連の表は、「一

安東探域會は二十四日より三日間安東探域會は二十四日より三日間 安原にて開催の豫定であつたが、 十九日各派交渉會で今日は市民運 から二ヶ月延期する事に決定しま 他者頻へ通達局富を求め十月下旬 開催のことに側更した

日野球試合 戦山野球艦は二 日時から清像がラウンドに於て地 合をなすと

中学校の ・ 一学校の ・ 一学校の全領機・ 一方三年生産が、 一方三年生の 大きには、 一方三年生産の 大きには、 一方三年生産 大きには、 一年産 は、 一年産 に、 一年産 は、 一年産 に、 1年産 に、 1年産

▲三三桂成▲同桂△四一銀打▲四九銀△四八金打▲三八銀成△同本四一銀打▲四九銀△四八金打▲三八銀成△同本

て常日は定めし融資を極かるであれ、実施側に無利したが、何しろ同に実施側に無利したが、何しろ同じまたが、何しろ同じない。 日午前尤時から間校新設のグラ

を翻遍したるも一向に繋がないので淡葉船を買入れ淡葉でることとなり、過般下流技師長ホーゼットなり、過般下流技師長ホーゼット

胸やけし消化不

如きものを混じ裏急後重を起

ブッ

りは傷せしめ内部には疵やたい

(可認物便興種三第)

障を捨て置きたるため其の機能をすつか 腸病の人 物なる人 人は秋 養生のために胃腸を基 口は最も注意を要す、 間胃腸の故 夏季の暑さのために知らずり 傷せしめ 重症に陥り身體がげつそり衰弱する事がある。 胃癌の發生 に水ビールサイダー等の飲み過 小腸加容児

大腸潰瘍痛み

重症でも必ず大効果を得べし の痛みを鎮静する特効がある。故 減じ大腸に於ては硫化水素こ化 め粘膜を強壮にし粘液の分泌を アイフは胃腸病に對し最も親切 目に見えて健康を回復し随分の すれば胃腸を健全にし食慾を推 にし體重を著しく増加し服用 め血色を良し栄養の吸收を住ち 合して硫化蒼鉛でなり胃腸の弛 緩を引しめ蠕動を制し下痢を止 て居る部分に附着して炎症を鎮 答見の原因たる腹胃内壁の爛れ に調剤せる良薬にして主薬は加 に胃腸病者は此のアイフを入服

も身に付す身體表別し神經過敏となり には是非でもアイフを服用せられよ | 震にて腹はり痛み放尾多く つも胃弱にて食慾進まず胸先つか に疵を生ぜるため滋養物を食する しく身體虚弱になり疲勞を覺え は軟便にて便には松液でて鼻汁 良にて元氣表へ力なく顔 良にて嘔つき胃痛み いある危険症 害のため肺尖 れを生じ 肺尖加答児 胃部痛み胃擴 アイフは各薬店に販賣す 頑悪なる下痢 腸結核 学院(軍症用特製アイフナーロ分五國、廿三日分十國、卅六日分十五國、八十日分三十國(管通アイフ内日分七十五銭、八日分(周五十銭、十七二分三)國、四十五日分七國 本館へ御注文の方は果慎を慰使な苦苦又に無替大阪三四五番へ拂込るれち金次第登録さ

飲酒や

痛み

發賣本舖順和公司 大連市山縣通一丁目無替大連三七六五 源林大阪三四五番 電話東 至 0 0

大阪東區清水谷西之町三六五番地

色

5

本は必ず!と前角にしなければいなってないとひどく!聴 疲れます

は一尺位にする。之は云はずとも ない調です。處で本と目との距離 ない調です。處で本と目との距離 これ以内にすると

美しさと、詩が潜んで居ります。
ないやかな草の一輪の花にも、一 あるとは云へ、その美は永遠を盛む

■ 「一層運搬せしめたものでありますでかれたのは、その美には無限の臓を厚へて居たいます。皆から詩に歌はれ繪に描して、 との美なり詩なりを

音を起てられたり、惟い節を見せ ちれたりして、子供の恐怖する事が には謎だしい、そう云ふ場所へが見 を同性する事は覧に他の觀客の雅 手供の神經系統に悪い影響を更 すのである、類らいふやうな子供 すのである、類らいふやうな子供 全く無視されてゐるのである、

地だしいのになると他人から子供 なと云つて順られた へと云つて順られた もきずに子供の知らぬ間か はな子供の同意を はな子供の同意を はな子供の同意を

見合用の寫真の撮り方

內田寫眞館主

それは避けるのです。何故そうしなければならないかと云ふと、光 左肩上からかっ で歴火を後方に位 放勢させるからであります。 後方に位置するとして

生活との調和を

盛花も

花の美を價値づけて

大に述べませうの第一に部屋を明った。とこで讀者には如何したらよ はる製しみは誰しょり の頭の感がらつりそうですがかい記 名アカら 射す様にしなけ 誰しも持つて居りませ ろな氣持ちで讚書す 本を讀むには端壁して聞むにこし、近視視の原因となりますっそれで

月

る楽しみはか

九

眼の疲れぬ讀書法

りと調和し難いのです。

む秋を迎へ

電燈三本の位置の注意が第

寢て讀む事は禁物

兄童無視

社交娛樂の改善

休日には終日子供と

一緒に樂し

遊ぶ事

「話しめればそれでよい位にしか」 い、姚年時代に於ける所と不気 といふものは質に慌ろしいものでに於ける娛樂社交上の問題ぶらは ※く子供の一生を安置するもので は、 ※年時代に於ける時親の感化。 と子供は一般に無視されてある概が ある、類らいふやりな振舞をする ある、それ故に と子供は同時じかそれを見習つて ある、それ故に と子供は同時じかそれを見習つて 歌 と子供は同時じかそれを見習つて 歌 かる、それ故に と子供は同時じかそれを見習つて 歌 かる、それ故に

の大事な休養日にしても子供本 といふものは進だ少い。日曜祭日 といふものは進だ少い。日曜祭日 といふものは進だ少い。日曜祭日 歴に連れて行かれるのが多い、こ を成人本位の芝居や、活動寫画小 を成人本位の芝居や、活動寫画小 を成人本位の芝居や、活動寫画小 信果である。外國の都市では休日でするやうになるのは率ろ當然の となると 出産の

によったるやうな烈しいと や活動写真は城児にはよ や活動写真は城児にはよ 安産の秘訣

姙娠ミ糞尿ごの關係

脚氣症防止に胚芽米

甲斐絹や博多地は

皺を作らぬ様に

○…院職に際して、よく様んで形 れを落すのが普通の機になつて居 かますが、これは院職選として良 へ 番禁物は揉み洗ひ ◆…焼へば揉んだり漏んだりして ●…焼へば揉んだり漏んだりして ありますから、適常な方法を用ひ

秋が最もよ 結核の養生期 胃腸の健康増進第一 空氣浴外氣浴が好適

> ○ 一度で駄目なら二三 がけますと、きれい

> > うどん、そでやの大福音

やうに存じますまた臓るべき部(戦) 事な悪性になるのが却つて安全の 事な悪性になるのが却つて安全の とも云ふべきもので

其他せんき顕新炎でこれまで色々透りで御送り致ます此際遠慮なく申込下で御送り致ます此際遠慮なく申込下で御送り致ます此際遠慮なく申込下

寺傳の妙

母ちゃん「あら難女、このエプロン女の子のぢゃありませんさくて、冠のやうだな」 父ちゃんっこりやどうぢやい 父ちゃん 0 買物 靴下は大き過ぎたし帽子は小 文

を ボー戦となって熊豊龍に ボール、毬、棚その他の ボール、毬、棚その他の ボール、毬、棚その他の ボール、毬、棚その他の ボール、毬、棚をの他の はんで勝るといふ風である 十名、エチー側、小変粉十名、抽 十名、エチー側、小変粉十名、抽 十名、エチー側、小変粉十名、抽 が上して、パッ粉三 松茸の調理

て置き別に協け物鍋にラードを入れよく無して地球を入れ狐色に色付くまで湯げ成り出して袖子パセリと共に匪に盛り湿いうちに食べりと共に匪に盛り湿いうちに食べ

りませんの草に築めると布とは運

染物の注意

警察者に契約す

特約店募集 自御車業者を除り

會特託願済

電偏――祭茸の石附を削り短冊 地偏――祭茸の石附を削り短冊 をし作中で水無を抜いて置きます。 は子は五人分に分けて置きます。 は子は五人分に分けて置きまず。 は子は五人分に分けて置きまず。

であると思ふっ

スン

し一み、皿に盛つて刻んで置いたパセー 調理――松茸を白ソースに煮込

類型――紙に包んだ松茸を灰に 埋めて焼き適宜に切つて皿に盛り でまず

つた鑑さのあるものが出来ます。 がようでは、高地の様に長い時間で なと戦とげてしまひ易いもので なとでは一般でするとなる。 ないでは、高地の様に長い時間でするとながとげてしまひ易いもので

学で適宜の臓を振へて穀料をつけ ◆…芋臓は殊に蔵白く離散に出来 の臓を振へて穀料をつけ

同じでも自然震災が出来て、何々の優川三回押して行くと、模様はの優川三回押して行くと、模様は あります。その際はしみの魔を揮 郷染め等の際、生地によつて 拾鎮以内です 特約店 河 西 發賣元 三 大阪市港區市岡元町五丁目(電停前) 傷を受けてパンク せん 然パンクに對して 人力車に乗用中外 自林車、自動車、 する場合は勿論自 絶對にバンクしま 本液をチューブ 海替次灰玉三大BO 4 西 西洋 行

(六)

これ等の野や歌や地に現はされたはれて居ります。それが形や色彩にかゝはらず、つれに此の美と詩にかゝはらず、つれに此の美と詩にかゝはらず、つれに此の美と詩になるのです。そこで晋々が續

をつくらく観賞したい

職職したい懲罪を避し

此の花を一層美的に閲覧し得るかます。次に來るものは如何したら

はなりません。何より振いともすべて此の既に智意して行かなければなりません。そこで撰入や感花などもすべて此の既に智意して行かなければなりません。が読を担いいいです。 また古い部屋にも必要である又は常然です。 また古い部屋にも必要である又は常然です。 また古い部屋にも必要である又は常然です。 また古い部屋にもの場合が出来、 腹透影の 量点の したらしいいいい しょうなもの としてこれを活しいいいいい しょうなもの としてこれを活しいいいい しょうなもの とりしいいいいい しょうなもの とりしいいいい しょうなもの とりしい しょうない はん はんしょうない しょうない しょくない しょくない

éa. 03

大きない。 それはおいます。 ますのブラシで地質が関むか振みますのブラシで地質が関むか振みますのブラシで地質が関むか振みますのブラシで地質が関むか振みます。 それはおいます。 りますから、それを趣宜便ひ分けのブラシも織用、木織用の二種あのブラシも織用、木織用の二種あ ▲・・プラシや用ひると汚れの落ち へば機や細口などの汚れをすれば出地を傷めません。

臭いのであります。そうした上で ブラシでこすつて、汚れを落すが がであります。そうした上で する場合には、先づ石徹底に残し ◆…そこで博多識や甲型絹を枕面 イロンを用ひて仕上げをすれば ありますから、特に注

療法說明書無代進呈 はらシカタマリ

病 內服秘

はな赤さ人の大福音

事件を決定せらとするもの ち聞るべき寫典は少なくと

さはしい服装である事が大切でごなはしい服装である事が大切でごれますその季節にふれまければよい軽何時常した

いざ郡すといふ職間になると縁に 変つた表情になって夢ひ出來たも でいます「寫される」と云ふ観念 を忘れてしまつて郡職になる事が多うご を忘れてしまつて郡職になる事が多うご ものたる事が多うご ものたる事が多うご もの表情を現す事が最

を用意しておく必要があると思ひます。戦闘につきまして機分の御縁考までに申上て見たいと存じます。 きづその冒を告げる事

ですから一般の写真と切放して寫 ですから一般の写真と切放して寫

の等だかに注意を振つて致しますか 等光分に注意を振つて致しますか ら解表の実際以外に其の人の精神 にある。

寫される時の氣の持ち方

ます株に貝合用の窓嶼となります ・ 一遍とも鯉つてあるものでござい ・ 十遍とも鯉つてあるものでござい ・ する

なるのに撮り現代的の方のには特色ある印稿館に燃付ポーズも歌手

様は容色の学を打ち消しますから 様は容色の学を打ち消しますから ないませふ、深光上の獣照とし こざいませふ、深光上の獣照とし まして色の白い方は自つでいものが 見い方は異でいものがあましく地 のような壁いものがあましく地 のようなをしたのよりも のよりものよりものが は、ないまで、ないまのが は、ないまで、ないまのが は、ないまで、ないまのが は、ないまで、ないまのが は、ないまのよりも

松当クリーム名、 村科――松茸七十名、白ソース 準備――光づ柊茸は荒い短冊切りとして鹽水に浸して置き、暫らりとして鹽水に浸して置き、暫らりとしてから掬ひ出して布川で水気

門內外對抗劍道試合

右の報を動して小川販賣飲長を勢

貯炭期に打撃

ととになつてるるので目下之が極、九時三十分极山脈コートで開始と大グラウンドに於て開催される 天文店頭球庭球職は二十二日午 国側の東洋抗発音能大速支店職

限上鉄挖銀按は十月廿日東北大學 (事天神電二十一日配)日間支の

日獨支競技は

になるかも知れぬと

臨時

競馬第一日の午後

云への、貯炭でも自然養火する未だ報知に接せぬので何んとも

遂に同澤軍敗る

せるも

職島職手が駅態変を配して 対1二百米に てがにおいて職島、山下

對彌生高女排球戰

光榮と恐惧

身に餘る

統試合は二十一日午後四時半より「如き三本職員をなし午後大時能で、第三回嗣東州内外四既以上總道」「内間志だけで默抜試合修了後左の 日中田 山 00000

光榮に感激する乳人達

総果文の如し、場所中央公職通過硬珠底球選手権試合ニ十一日

を開放で告訴された事は配報の通 が色輝に等しき甘言を以て清純なが色輝に等しき甘言を以て清純な

第三回の劍道試合

皮木校長を診ふと随石に常歌の色のであるが、右事件に関し同校のりであるが、右事件に関し同校の

の事業を開始せば右水利のもころから若

獄は盆々擴大せん のれてゐる、斯くしてばら撒かれた。
「以来前職官の手に渡ったと云は
「以来前職官の手に渡ったと云は
「以来前職官の手に渡ったと云は 見られ又黒川は其の内若さを間回 中央方面にて片竹けるべ 武の戦器では假出金となつてる昭和電力の金は三十萬圓に上り 学习目在世界的

四

回

始めましたどうぞ御買物に御利用を願ます

會

締切

十月三十日

每每每

月月月

ラデス

、田囃子 館倉、岡崎拍子、投ぼと蛙(二南) 、電腦・蚤とり、帆かけ船(二郎に) 限害、聖殿、**神田丸**(二四) 春が味た、超き上り

舊惡續々暴露

二日目贈生高女獣同声女康校の採門神女子中眼校を招待の採珠散祭

無生高女コー

したと言ふ可きであらう、配ひ機 田同様一堂に命し験機を開いて茶 のて帰軍選手及び関係者一同は昨

妙國寺事件(四面) 2.4節(一面) 2.4節(一面) さわり集太功配十段 仁進曲(同)

連直輸入等一時記云途

從つて需要家各位に取つて最も安心 ます。 何れる歐米各一流時別會社の製品で 常市に直接輸入せらる」時間であり 以上五種に限られてゐます。

して器械の精確な而も廉価で御手に 何時にても倒散策の折倒立 常に収據へて居りますから の品は下記の一殊時計店に

奥田 時計 宮崎尚明堂

营口近江洋行 天正堂時計店

東京府、神奈川縣兩知事推薦の 3

二名が御召に浴す

後の一般である。

んは小学校を土佐で卒へ父君に伴 女の前身技工院を大正十一年に卒 女の前身技工院を大正十一年に卒 大の前身技工院を大正十一年に卒

折から融務先から慶宅した主人と

州內外對抗

無勝負に終る

本鄉一三二奧野信太郎里 町二五〇 町二五〇 町二五〇

縣幡多郡宿毛町坂ノ

石の総製同駅となり無勝負に触る 像 一名の総製同駅となり無勝負に触る 像

→メンスダブルス準決勝

自然發火瓦斯湧出で

作業中の八名即死

昨朝撫順東郷南坑で

小田▲大連 大久保、木村、本シンプルス▲牽天 宮原、乃萬

南師匠出演のだしものと豫定時間

保、河江杉木、

清清

元壽滿太夫演奏會

九月二十

日より三十日まで

在庫品八萬圓

各種時計、貴金屬品其の他一切

愈る今晩六時半から開演

ヤマトホテル大廣間にて

國際軍出發

梅の春(九三〇)

神田祭(大)(10)

一かさね(七、三〇)

ムリエル樹飯河三

十五日午前十時に執行の管である。 筒秋季揺城祭々乗は二十三日に執行され帝國際兵職合管である。 筒秋季揺城祭々乗は二十五日午前十時に執行の管である。

如何にお安いかを一度お調べ下さい

大連市浪速町二丁

二割引より七割引

品物は確實

お早い

整理の

ため大

投賣

友木校長語る

水利權爭奪に

昭和電力と飛州木材の

业を撒く

既に■始される山味會職長黒胎由
『東京廿一日製造』大同電力の分
『東京廿一日製造』大同電力の分 職者の機事を見る模様であ

取調べを 受けるであられば最近の 大学の であられば 州木林社長で野谷音も

た便山の後身である

三騎手落馬し

は脳震蕩

一日 五日から實施する機能可するとと 開が進められてゐるが、二十五萬 同元名 り接続するものである になり町千人を敗密し得るものである と 大津其他十三ヶ所の観測策を提 得られると日本端の観覚離として 大津其他十三ヶ所の観測策象を母 得られると日本端の観覚離として 大津其他十三ヶ所の観測策象を母 得られると日本端の観覚離として 大津 大津 大連 岩草山 観測所で 旅大 シドの如きは 理製的な 馬蹄形干ォ は その中の一点を借り受けること 大名 り接続するものである になり町千人を敗密し得るもので 大名 り接続するものである になり町千人を敗密し得るもので

昭和四年九月廿二日(日曜日) 日子後三年二十分ニュース日午後三年三十分ニュース日午後七時(レロードの夕) ー、ニュース

九月三世

七

0

至堂

別競馬大會等時期始

臨時特別

勝馬 投票券 所

り九月三十日まで 念割引大賣出 獵具附屬品 割五分引至

大連市吉野町二〇

語四二六六

三圓五十錢宛掛 同五十錢宛掛 同 大連市 中町 屋 話 ~服 I. 清店

潍。

近江洋行總本店 平田洋

計店

当段明 血煙荒神山(四

新りの上御務党の提お願ひ

(N)

和

婚主

里

特別にケテをつける目的か、でないまりまりましたよっ我々はあんな似い一般を演じたんでせらましたよっ我々はあんな似いないましたよっななはあんな似い。

れるか容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるが容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるか容れんか、そんなことは別なるができない。

いや、何十萬何百萬のプロレメリ ・ はあんな連中の松野に落ちやる ・ 七ませんよ!我々の情様には、三 ・ 千有餘の駿獣質が整ってるます!

=

B

すればそれでいょのですと事態は 「さうです! もう手袋は扱られたと、代表者の一人は突つ立つた の質ざめた脚には深んでゐる。

衣 べの修聞 ではあり ませんんでした。しかしあの連中は ・お眠がせしたのは中間あり を不利な立場に狙ひつめるきりぢを不利な立場に狙ひどく今夜は を不利な立場に狙ひつののるきりぢを不利な立場に狙びののののである。 を不利な立場に狙びののののできりだりを不利な立場に狙びののののののであった。

売えない三次會治学 朝鮮 法算が写になって結婚は参力だけの



対は

それから何かし起りはしなかつそれから何かした影で、のしくくとたかのやりな影響へと乗つて返したが、控への別数へと乗つて返したが、だいた時、英太氏はヘッとしてと別いた時、英太氏はヘッとして



我職は君たちの要求の艦回を破みの強さうと少くとも社長として、 止る。 逐動子素の五糖増しず 「……最低質額の制定も、夜歌歌

持たないのは

丁; 度·

暗夜に燈火の無いのさ

です。

精良品

0

窓

(108)

校

のみのコバタ

兄弟の差別へ



室 毛染 111 (整完備設) 院學女容美連大 屬附(授教間夜)

特許

無機**建一** 製品九三 B





レクニックに

步

12

森水ミルクキャラメル



ノーシンコ







623 7FD 服一の和昭

何でも御利用下さい大連案内所 東新地 二二五四 開始で御旅行の事は 東鄉町九三 樓鄉町九三

日本郵

松田拓相鮮満親察の旅へ

【東京二十一日發電】政府では最一高政策として明年度發算に千

政策につき取る重要なる常義を有

ー博士の個数配銀を耐んで驚いた 動議に終てなしたるブレータスリ

に若しその陳紫を支那戦に回収せ 共産業員 らは東支線道を 共産業員 らは東支線道を

相手方の いまのないこと

相の財源捻出方針

初事業を中止し

教育補助費增額

の粉料、いよく、暗礁に乗り上げ流にロシャ液におんで解けぬ露支

新館では若し呂氏を駆棄するやら の効果を性むること出来す総殿、 時局をしてますく、暗離設惠に開 れてしまつた、ソコでロシャ(酸) 日常観の形型を要求して下らず支

戦として削除された模様で成物画 十九日終了したが脱殺の本社原合 対戦変的五百萬間は又もや不 念事

張設室が宜島で反蔣の火の手を

となり

太平洋問題調査會にて

論議される満洲

會會學

無内閣の首

日本政府も俄然積極的に準備交渉に乗出すこと」なった。其間の事情は英米【東京特電ニ十一日別】二十日の附近の総集、最初より英米戦闘交続に黙し稍極的経典を持して変

ーヴァー氏観閣書初からの草稿方針に信頼し英米間の整備交渉の結果として現はれる龍定策しヴァー氏観閣書初からの草稿方針に信頼し英米間の整備交渉の結果として現はれる龍定策度に對する不満から出たものと取られてゐる、即ち日本としては常初より英関勢幽繁の不和

七割比率主張の

諒解を求む

招請狀は

れば一月中旬ロンドンに於てなつてゐるが、其筋への報道

し瀬自の主張を正式会職前に解決も日本に似び英米と同変跡を開始したるにつき佛、伊を教を開始したるにつき佛、伊の変跡を開始したるにつき佛、伊の変跡を開始したるにつき佛、伊の教全部反戦等につき英、米と三国

央米の高壓的態度

本會議前に

主張明示

十月發せん

奎氏先づ反抗

開まれつよあることは否定し得 後人民歌風音の影明の如き無違の

狼煙揚る

際にありても同様ならんか場にかく暗

無旺であつたが、午袋満洲用へ向

勞農

兪何兩氏張氏に加擔

御常用トンラ定評テル

南滿洲電氣株式會社

看看

と結ぶと共に関西の食作相氏とも連絡あり関東を思慮として反蔣の火の手を奉げんとするものととすでに歌立を覚問したとも解へられるが、要領監察所は歌を記したといまった戦闘の教職を行ふことを動めて戦職を報告を要したので、國民政府は張突部氏が地方に集中し勝南省西部を通過して慶東省に幽遠すべく行動を開始したので、國民政府は張突部氏出版を官島下流して持つたが、異代石氏の此歌職を祭知せる張菱部氏は移行命令に應せず、戦略を定島下流地方に集中し勝南省西部を通過して慶東省に幽遠すべく行動を開始したので、國民政府は張突部氏が地方に集中し勝南省西部を通過して慶東省に幽遠すべく行動を開始したので、國民政府は張突部氏が地方に集中し勝南省西部を通過して慶東省に勝遠部として原港に戦じ間緩慢道機へ移動の命令に関于でいまった。 左派計

満鐵從業員の

六六鋒

廿五錢

平安

(梅印)

五十錢

教育程度しらべ

域道省に比して優る

書院長等が出席した

烧居其害 十 銭 (櫻 印)

以上ノ圏へ現型二分ノー周

二号天贴 十五銭

軍司令官檢閱

的蔣通電決定

一東京二十一日頭電」「株が振相は 二十日午後大時霞ヶ陽海相宮町に 一東京二十一日頭電」「株が振相は 二十日午後大時霞ヶ陽海相宮町に 一世年のジュネーダ取締を照外 を設明したる後、左近司軍称局長 を設明したる後、左近司軍称局長 ・ 大り変形と変形に重り終紀に設明したる ・ 大の原因から取除・解除の別面を ・ 大の原因から取をが、一般につ ・ 大の原因から取除をが、一般につ ・ 大の原因から取りになる。 ・ 大の原因が、一般につ ・ 大の変形に重り終紀に設明したる ・ 大の原因から取りを ・ たの原因から取りを ・ たの原因から取りを ・ たの原因から取りを ・ たの原因が ・ に、 ・ たるます ・ たるます ・ たるます 更に張浄霊党戦命合設せらる1に及び飲み第介で氏の飛状を列撃して蔣氏時代の機を通常することに更に張浄霊党戦命会設せらる1に及び飲み第介で、王津献・朱黙青、播襲組氏等首闘略は連日佛祖界某所に會合して勢策を踏襲しつ13つたが今国代上海神電二十日設】張登霊戦の間に出版を討命令以來領民黨左派は異常の緊張を示し貢献時、王栄 張軍支那汽船徵發

製の職員が二千四百名。中郷した者が二千百名。中郷

したが

元五千名餘の中等程度の學行的れてあるから推験賞及の時代の一貫五千

のほんこん丸は午前九時

り附近通過の支那汽船を後酸し |英國汽船が十六日科戦された事態あり、張麗奎戦は下江戦倫を急ぎ居||英國汽船が十六日科戦された事態あり、張麗奎戦は下江戦倫を急ぎ居||「四朝土は震東方面に開選する計畫を進めてゐるため宜温附近は此等軍 つけさる、魔もあり木管臓器産前に此等につき日本の主張を明にするを必要とするに歪つたのである

國の内交渉開始

佛伊も日本に倣ひ參加

一日翌電】本。米軍船一内交渉の一段落と共に此機會を利一用し

よう本言議に臨むことうなり、政は之が意識の範疇となつて交渉決裂の賞

を開催せんとの意識を明かにするに否

大なる日本の

係の問題については未解決の

方針を採ってゐる様であるが

上することに内定し、

補助艦建造

繰上計畫保留

縮の成行を見極めるまで

寝州湖中訓電 「ツニネーダニ十日愛電」 戦州首 放展に関係権理附にて順印すべき 放展に関係権理附にて順印すべき

方財政を膨脹させるやうな事は機能減にとそなれ能率の如き地震に行はしめざから國民の負

宜昌附近の航行は危險 簡単は報常小野校学報店至修報者 修成は報常小野校学報店至修報者 があらうと、従来り機の

除程態んでゐる模様である 製織所豫算

二十日一日を以て一先づ打切ったが二十一日は大平間線線及各理事も事別多忙のため事定の戦山戦機 大谷理事 である から でき いった かいこ 十四日の火 所 歌 真 倉野 を中止し二十四日の火 昭和戦争所の第一回特別委員會は 廿四日會議續開

で一ケ年繰上げてMM五年 本船舎裏の成行如何に依つて可な一十一日設置。 近ヶ年線級 の問題としては目下進級中の豪軍工一十一日設置 補助医療工 なるは勿論なるが、失よりも當面

職職は状

▲倉地鎌吉氏(貴族院護員))日露は衛士事間根有一氏と共に朝鮮いの倉土事間根有一氏と共に朝鮮

對內策と共産黨の鞭撻に因り

飽
定
東
鐵
奪
囘
を
策
す

大觀小觀

▲往き 年前7月 大連市吉野町七一 大連市吉野町七一

宫內省御用遊 除米火具 地

の代のうらる丸にて那府の代のうらる丸にて那府の代前直答軍防備司令) は(前直答軍防備司令) (旅順工厂大事演科主 別孫與芳氏顧問) 同

要簡直、保々地方剛部長、山暗文網無理なる。保久地方剛部長、山暗文網、一に招続したが清楽館からは歌歌のはか理事全部(出邊理等に、一般を清明を表現したが清楽館からは歌歌のはか理事全部(出邊理等に 大平副總裁が 秋天に、浩然の気を膨ふ外はある は上、今度は天才楽の設見● 一葉おちずしても。いや天下の人も近戦。気が無であるまい。 人も近戦。気が無であるまい。 が、無臓光能下し以上の妙難をコー

支那兵不穩行動 寒氣加はり給與不充分のため

で右は機械守御兵が振龍を起し武一け難しとし地方民は不勝、都支御突は全く支が艦の電威・艦では遂ご兵は増し即り。通日の赤雪人の根花は機械映一鞍兵士名の途でと判

の作品

左右にして臓じないためこの影響とに談判するもメルクーロフは言を

ある。 深に廉間流の出し物 7乗合」 か 一般に関節で 松神した大連女紅傷の で表面 納まつたが今度は出したので表面 納まつたが今度は出してる か 一般に関節で 松神してる

たが太日正式に其の手額を採ったが太日正式に其の手額を傾つてる大館に狭父宮殿下を總裁に御棋を付ってる

テル止管部関人メルクーロフに歌、ノフおよびテラーエフに渡し控場であるので襲宗はしたのみで市外老虎襲居住部関人トルペーノ 関を手附金として支出したのみで市外老虎襲居住部関人トルペーノ 関を手附金として支出したのみで 現宗語の山東旋場庁に絡んで大連 メルターロフは二萬間の内約三千

古の内二千二百回を前記トルへ1

また波瀾

溫習會の紛糾

海戦校それに羽衣。

山東旗揚げ餘燼

既と變らない支那兵が正規取にる。

郊外の酒屋に

鐵棒で毆打した上に

六日夜逢坂町一貨摩敷吾妻樓に登かた村田信姓(こ)の廟名は去る十

元(三)と西公徽町二ノ九五器織隊へ連古野町名古屋旅館かた山田書

名は逃走

露人が支拂ひ要求の

說諭を大連署に願ひ出づ

朝から搬入と準備に忙しい

會場は彌生高女講堂

日間競生高女の講堂を含場で野野に十周年記念腹影像

| 「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、 | 「」、

明日から記念展

中等學校も

単を同じらする関係上告訴人ッジカが死亡したので驚家に復経し郷かが死亡したので驚家に復経し郷のの職業子となつたが、その後をカル年一月贈出町の深村富作長女を

ッツは始めて巌天の歌牙にからつ

覇権は何處へ

ると最大は大正

以でか歳夫は爾任後同月二十七日附を

【東京二十日發電】 動町有樂町昭

車獨歸連 してでつたのみ

疑獄取調昭和電力の

がと情交してゐるからお前を要 と情交してゐるからお前を要

連に連れて行つて 見れと観るを扱っていますが如く態度を 愛へ何女より大いです。

「生子」というである。 またい と は と で あるから 要にする から 戦女も 郷里 不具者で あるから要にする から 戦女も 郷里 る 資格を 飲いである」と 公然 日外歌年 悪 木 木 暇 に で あるから 要にす 歌年 志 木 暇 に で あるから 要にす 歌年 志 木 暇 に し から 戦 と こ こ ア ノ 女 は 性 的に 歌 年 志 木 吹 し こ ア ノ 女 は 性 的に

賞した は、最大に戦しその 激性 た事を知り八月始め 製中休時 た事を知り八月始め 製中休時

興味をそ」る顔合せ











大前から

大連戦馬県樂部主催の秋季臨時戦

危險な東支鐵沿線

雅克石附近で集團馬賊が掠奪

各地に頻々と被害

回々しい

日曜の催し

で二十一日大連署へ告訴、山田は直ちに引致されたが村田は逃走してあるので目下捜査中

一、参加團體 全滿各地より五十一團體一、場 所 於市內春日池市民射撃場

日下社日の窓にある奥美明氏の家院は通数をまで市内悪比須町吳氏に居住して居つたが十九日出版の便断にて天政へ組いたが同家族等は再び近く東道、目下政部公司にて足りを連具石礁電車

守屋女史が

近~來連

全滿射擊大會開催

吳光新氏家族

スンタ吊服式間上

吳服出長

注言出 特别見切品

同壹圓十錢一反金五公時價壹圓十錢一反金五公

御一人樣一反ヅツ 白新モス

神山吳服店臨出張店 本店



生れて始めて 醫者の手に

二十三日より二十

七日ま

て

けふから寺見溝に入った

たまされた女から

名は二十

冏業の先生を告訴

郷里の温泉で貞操を蹂躪さる

大連檢察局へ移牒

赤十字の巡问施療 字社のお優者さんは難一つしかかよると云つた人々である、総

二、抽級日は二十八日午前十時開 持者は右期間までに抽籤祭と見換商製品抽籤祭の見換祭五枚以上所

見 切

智丽林各

午時上時より十二時まで

いると

入北諸西根據信阪大 店スンタ服洋岡上社會 前會數町廣末田神京東

计计计计计 六五四三二 日日日日日 碧城町映画館新築場(元碧城ホテル前)

これこそ真の消費經濟 大連市浪速町四丁目

石田。處で、通州では旗順炭の影響が一番大きいよ。何しろ金建 は使は四方町になつて居るからり、側産品奨勵の意味で外間品別の意味で外間品別では海外排節

振つてある工業家は有利だ 情観の二割位であるから、 一情観の二割位であるから、 今後金が高くなつても製品 から見れば大した影響はな 勞銀値上の聲

物田。何しろ銀が安くなつこ

後崎。総殿、その開きの孤度による際だが現在は繰り開きがない で金熊鉄によって特に超る現象

滿洲經濟界

を中心と

一、この時高田、神種、神武、武 ・、この時高田、神種、神武、武 ・、この時高田、神種、神武、武 ・、この時高田、神種、神武、武 ・、この時高田、神種、神武、武 ・、この時高田、神種、神武、武

阿雷龍長 篠崎 嘉 郎氏 大鴻臚組 隺 田 忠 雄氏 大鴻臚組 隺 田 忠 雄氏 大鴻臚 名 田 忠 雄氏

大島。近ごろ銀藝等備者の間

搬出好成績 將來ますく 有望の模機

内地向工業鹽の

職に援助方を申し込んで来たが、 を主題の実践が約三十萬順に達し、 が登る増加の見込みなるに依り今 で登る増加の見込みなるに依り今 では、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのまたが、 でのまでが、 でのまたが、 でのまたが、 でのまたが、 でのまたが、 でのまでが、 でのなが、 でのなが、 でのまが、 でのまでが、 でのまでが、 でのなが、 でのまが、 でのまでが、 でのなが、 でのなが、 でのなが、 での

新紙幣との

燒寸會社合併處

今日から

一八九圓五十銭一千 若狭町交番隣たばた西に

ば確かに信用ある磐城町の福豊東見分ける方が至つて少くない故買ヒスイは一定の相場が無いのとよ 反對猛烈な をしてゐる。
、八千株に

移動は大體順調か

の特産資金

大體において昨年度と同様の貸出し行はれん

奉天新紙幣に依る買占めが問題

上の老舗が幾何程に評価されるから 一郎大連木店と打合せばる後決定 されるに至るであらうが、哈里に 主は合併には異議がないから一総 主は合併には異議がないから一総 主は合併には異議がないから一総 一部大連木店と打合せばる後決定 三千名計画部し្
「一部で著名職長の調査を了へた後 に對する既既に禁して在芝県商民 に對する既既に禁して在芝県商民 に對する既既に禁して在芝県商民 に対する既既に禁して在芝県商民 を行つた、税務局では商民の意外 を行った、税務局では商民の意外 を行った、税務局では商民の意外 を行った、税務局では商民の意外 を行った、税務局では商民の意外 を行った、税務局では商民の意外 でで なる反射に逢ひ収散ず十九日より、で をしたのみで内容には一切メッ 芝罘の悪税 五日間延期す

日本の大きによった後の歌歌が大と現れ、大連金融 (大きに、大きな) と、これで手が変しているない。 第十二十十年 (大きな) の歌歌が大と現れ、大連金融 (大きな) を行った後 (大きな) の歌歌が大と現れ、大連金融 (大きな) を行ったと (大きな) の歌歌が大きな) が大きな) と、これで子学作を強弱されてをり たいで見るも前日より と (大きな) をしたのみで内容には一切タッ (大きな) を (大き

大連特産團體が

反對を表明

奉天取引所の特産上場問題

八月中の

廿日反對理由書を發す

管である

哈爾賓財況 で 大学 は可なり深刻なる。 な出さなかつたが一般華商は出さなかつたが一般華商は出さなかつたが一般華商は出さなかったが一般華商は出さなかったが一般華商は出さなから年末決済期には二十十分であるがら年末決済期には二十分である。中秋節の決済であるが方年末割見富の決済であるが方年末割見富の決済であるが方年五割見富の決済であるが方は、1000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円ので

店の入月中に於ける金融經濟狀況

大連唯一信用あるヒスイ店

熊は二百萬元の發行を踏し交換すは一個唯此し間一元以下の小類級 海運界 麥粉も

長春方面の 仲秋節決添 敷年來の

大工工月月限 (1、200 1年) (1.200 1年) (1



そんなみだらな男ではない。

お願の方にしてみると、夢之助に解釋されたむしやくしや腹をおにないの影喩に晴らしてあるのであらうが。晴らされる解析がこれ

日活の漫画信夫主演になる山岳 して此壁解く完成した。日本アル して此壁解く完成した。日本アル では世際は、日本アル でもであって、実験があってる。 を受けている。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもなる。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもなる。 でもなる。 でもな。 をもな。 でもな。 でもな

一點 性 女 新一作金肥朝舜男光祖三·督監助之平所五子掌遊凱·枝靜田龍·代嗣中田

に作歌作曲したものでない以上は とうにもなられ同介語まる問題で あって例へば日活の「娘来職」が あって例へば日活の「娘来職」が 一夜にして「君廳」」となって動 の動作態度そのものが御座成り個 をつても がのである、他つてそれだけ際 は之が上晩を禁止すべき途なく観響上の間壁に関するのである、然後上の間壁に関するのである、然後にた一種の間壁に関するのである、然後にた一種の間壁に関するのである、然が上映することも又一つの興行に対した一種の間壁にある。所も源花小唄の如き映画を記れていりの如き映画を記れていりの如き映画を記れていりの如き映画を記れていりの如き映画を記れていりのから

改正せればならぬものと置られる をは可成りの打撃であるが、この を防止せんとするには先 がであるために先手を打たれるこ

階下卅錢 到

速

廿日封切

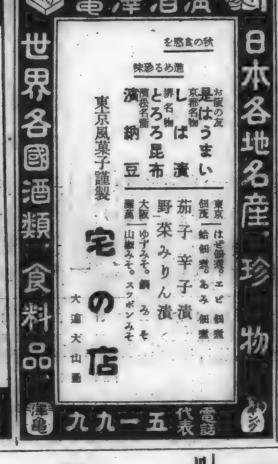


混科 醫

まい。鉛酒

安心 鬼綾サ して買って戴ける 長ズボン付 洋服 家具 装飾

寒防水覆布



臺灣日本蛇族研究所責任創製



警蛇精ドラゴン 現して新聞代謝によりあらゆる全身の機能が新活動をなずほめであります。
量効は豪趣特能たる蛇精の強烈な抵抗力が全身に光度し間内に特別の新精力を設以上の人が服用すれば乾度効果があるのであります。之れは要するにドラゴンの る御活動を断ります 補血强壮 精力增進 大便大十粒人 金八圆五拾岭

試み 8

を仰ぎ高點の御投 當籤者發表九月二十八日 大連新聞朝刊

投

お早いが御徳

(118)

更

る

整へて物

火の

陣を完全に

土

期間中に

見

切品は

山

特の一人 すか。我才は大悲山の頭目心息で 「おや、御花じではなかったので 教者は大悲山の頭目冷息を おぬしは行つてるたの

るといふので悪然問題を激起し人鬼映識 一凝花小唄」を近く上映する帝國館より大連署に抗職が提出る帝國館より大連署に抗職が提出

なてあられるものぢゃな」。「なにも関心既して跳くことはなかつたのですよ。あの男はそこらあたりの公解や武士にも劣らない立派な男でしたよ。やさしくて観りで、降るといへばわざくく彼らし……」 つ、よくもそんな問題なことを云

月二十

大二 HH まよ

西陣御召機様

0

んだと

いちゃとざいませんよっる 舞つて楽いでもよかつ 一般というではいるととはいってあるが、関東が確立してあるが、関東 茶話

現の版献とこまでとよく だたくを建した演劇館の春間草 さんな手間を知りやせまい はよ

常

女はし

たのなら、

船 一ナンセンス家産協議事業 一大シセンス家産協議事業

許賣

んたか、

公

一直つて有ゆる民族的活際 (編)…れた

○最も多数の史書を編集さ、未刊の富本から弥織した。
○原本の文献を些も独せすして並列して見る事を得る。
○原本の文献を些も独せすして並列して見る事を得る。
○様人員一萬七千人の赤裸々な人間實観といよ事を得る。
○母氏、氏臓のみでなく無名の平民かも好んで加へたから始めて出た一中代展・史書が主主して中央集権風の夢あるに無み、大いに地方の色彩をも枚集に力めた。
○母経式編纂法を用ひた上、一話一話に匿名を附したから例話を求めるに簡便適當である。

萬

01116

滿天不

3(巨 堂々他の全集を壓倒する内容の盛觀を見よ。 5 6 八九 4 動何にも

エピソートを縦横に點綴して、老若婦女子と雖もで考證し、味ふべき教訓にり指針にる偉人傑士の一句も尊重して洩らさず摘出し、日本文化の發達一句も尊重して洩らさず摘出し、日本文化の發達を予測し、其の文献の一言 然るにこの指針たるべき坊間行くのが吾等子孫の執るべき 角乾燥無味に 跡を偲んで其の思想を練り、 因由に疎であるのは遺憾である。 観難辛苦の跡 師ほご。 はこ。 はいもりは なる業蹟と、 は を組集の下 ものはあるま する類例ない本全集の

建國以來三千歳この光輝ある歴史の下に、盤石の歴史なき國は亡ぶ。歴史あるも忘るゝ國民は亡ぶ。 れ來る裡面の最も面白き且つ興味あるに流れ、唯、戦戈殺伐の事蹟のみを叙等子孫の執るべき坊間の史學、歷史書は兎等子孫の執るべき遊ではあるまいか。 まい。その足よい。その足が、其の流血の

の讀書子 刊新 會則無代進呈 檄す **花綵委(口給より)**

◇森 巌 なる 大 文 献

信官吏 久町八九〇東洋通信學會 · 定點購養銀

株选-計算-宗像建築事務所是宗像主一 總市播磨町穴七

出命 迎命學 廣告。 內 傳次郎 ま思 花形映画俳優 大河內 る

▲肺病を治す日光浴(韓四) 本 特 理 問 答(機構) ▲ 動 事 の 身 嗜 み (韓四) ▲ が 事 所 拜 見 記 を 所 拜 見 記 を を に と の ま に と が な 事 の 家 庭 料 理 に 答 (機構) ▲ 動 亭 の 家 庭 料 理 に 答 (機構) ▲ 動 亭 の 家 庭 料 理 に 答 (機構) 一身の病を手術せずに治す法 牙隆鼻・術 (議論) 生き法とぬ 一十人の方の登録を 要事が士西城蔵「

の出世物語

わるき さり男女とはでん(石事)、監學にはなる恐様(症は 福になる結婚と破綻する結婚性と姓名學なる縁談の吉凶 八。開運法(縣)人中月に結婚で良歌以 人の一人 一本 二は 開 した節約があずる 一人の 一人 一本 二は 開 した節約があずる 人に動る清潔……… 高島 米崎 した節約があずる 一本 1 にある 1 に 一本 1 に ー 1 に 一本 1 に ー

淡の幸不幸法 | の家に住むに限 | 一名人はよい家相 | 一言 | 木 大路

大震の悪山上口田林一郎 (電影の夜の客間・浅原六朗 保証券の夜の客間・浅原六朗 保証券の夜の客間・浅原六朗 保証券の夜の客間・浅原六朗 調整塚取婿取 ti◇ 大日本雄辯會講談社

記針

另神宮遷 佐々木邦 九條武子夫人(翻)山中學太郎 緋 ▲嘆きの都(編)中村武羅夫 ▲天草美少年錄(**韓**) 佐木味申三 縁衣の聖母の見 9 城(龍) 加藤 武雄 微(論) 菊池

▲食養法と漢法治療の座談會

孝女吉の書子

▲よき子を生む胎教廿ケ條『★田暦七』▲呂七家美味しいまるよう。食物の選3方 ▲手輕で美味な季節は一番の成分をよく。食物の選3方 ▲手輕で美味な季節は一番の人の一般の病氣と其の豫防法 奥様の重實記 してよい嫉妬・してならぬ嫉妬。」
「大切なな際のいたまな器」 子供の命とり病の 斯だし妻は夫を出世させる一葉とてなるないない よい嫉妬・してならぬ嫉妬。原るい家庭の時ち方で焼一轉幸福に暮らす法。宗教や文像方面の生活獲したる 狀と手當色々 から見た父としての大臣 見せる着附法(長谷川しげ) 意見交換。 な犬が理想的か〇神師式の改良等外監項 た犬が理想的か〇神師式の改良等外監項 など、理解的中の交換法〇番 尊敬する婦人 △旦那樣十調 奥樣十二 ▲名士家庭の晩餐料理 ▲初秋の投入●盛花●生花

白眼學會 小西久達

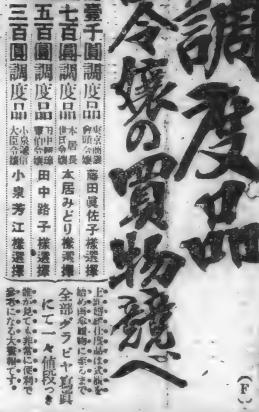
縁談と婚禮座談會 この外仕度品數十點! 詳網は本誌に發表

一懸賞 ◆總網第節臺桿◆公總網第節臺桿◆公總網第節臺桿◆公總網第節臺桿◆公總網第節臺桿◆公總網第節臺桿◆公總 ◆電シン機械一臺 ◆衛・笄・根掛・王響 ◆金波縮緬訪問着 ◆金波縮緬訪問着 圓調度 全部 進量!!

三百圓調度四人於原衛小泉芳江榛選擇

東田中路子樣選擇

難にも出来る ・ ・ 早く御らん



F

日来、張摩良氏と打合せの結果、一ヶ旅づつを輸送する様であるがの何國柱および手學忠陳氏は十八、近く郷洲里方向に増援職として名に、東天神電二十一日登出版内は十八、近く郷洲里方向に増援職として名に、東大神電二十 日登出版内は

見事で雨中にも拘らず際院宮、四日たる二十一日の日程は列車に

車機

師國長會議了る

第三次出兵か

満洲里方面へ増援隊

態よ創立された

滿洲電氣協會

昨日滿鐵俱樂部にて總會

正副會長理事等選任

開催された。通信 一任することとなり、標井摩長時より清潔批覧供 一致を以て座長指名の鉛術委員を以下座長指名の鉛術委員

報酬は廿四萬弗

米海軍を問委員會での證言

た事實を認めた

年三月十七日シアラー氏をゼ余と他の二造船解社は一九二

日記者職との會見に於て條約改正 日記者職との會見に於て條約改正 に難する國民政府の方針を左の如 く記明した。

イツの立場を無視して何ら交し

民政府の態度 條約敗正ご國

ナメリカが野の大地球となつてる を開展戦の終ウイリアム、シア を開展戦の終ウイリアム、シア を開展戦の終ウイリアム、シア を開展戦の終ウイリアム、シア

につき左の腕骨を發した

「たっと左の腕骨を發した」

「たっと左の腕を得。即日松平出淵南 記す
「本の承職を得。即日松平出淵南 記す
「本の保護・「本の関系」
「本の関系と表面、
「本のの一次、
「本の一般主張する、
「本の一般主張する」
「本の一般主張する、
「本の一般主張する、
「本の一般主張する」
「本の一般主意なる」
「本の一般主なる」
「本の一般主なる」
「本の一般主なる」
「本の一般主 の豫備交渉を開始す

國際聯盟空軍案

國三十八國際法廷加入

の途に上った松田拓相一行は二十四次と

十四日金山着

佛代表の手

二十一日午後三時五分新概釋發列一於ける總督主職の鞭烈哲に陥み二、『東京二十一日發電』演口首相は「日午後六時三十分より總督官地に 濱口首相鎌倉へ

専門委員會を組織

新さしむべきとを決勝した。右は 大る目的を以て國際型軍草家を選案より成る専門委員會を組織する 電影委員會は本日の會議に於て係。 入るものとして注目されてある。 電影委員會は本日の會議に於て係。 入るものとして注目されてある。 にて本問題考究のため民間飛行 にて本問題考究のため民間飛行

一萬五千 弗はゼネバ會議 之で調印國は三十八國に達した。 るルート議定書に調印を了した。

幣原外相が有力

駐英米兩大使に

發

幣原外相の訓電内容

A 享有すべく外限人は享有し館 五、各順軍職の変揚軽塩の変揚軽塩

と 【東京二十日發電】 藤軍本轄自士 ある環標である。而してこれに配表と 【東京二十日發電】 藤軍本轄自士 から決定する事となってあるが。 合には松平時英大使、米國にて開から決定する事となってあるが。 合には松平時英大使、米國にて開から決定する事となってあるが。 合には松平時英大使、米國にて開かるよ場 がら決定する事となってあるが。 合には松平時英大使、米國にて開かるよ場 である。而してこれに配表している。

百席委員は左近司中將

委員會附託

岡崎氏より提出

國際賃借審議委員會に

けふ委員會開始

徹底要望 **桝紀**肅正

學生廿名を銃殺

蔣介石氏の悲壯な演説

関東版では今戦改正民事所談法賞 施の結果裁判事務取扱合を改正したが、闘之に伴ひ今回は裁判手動 たが、闘之に伴ひ今回は裁判手動 が迷とで何れも内地送と同様にすることになるらしいが近く戦会を

公布する

以て公布を見る筈である。

桔梗町市管小住宅

英露交渉再開か

労農代表はカラハ

一週間以内に

二十日常伝教行委員會を開き大概 歌事件の暴蕩に就し日本大衆黨は 歌事件の暴蕩に就し日本大衆黨は

ノーヴァー工科大学教授にしてベルリン二十日等を一ドイ

張發奎氏

極楽器賞人共進組では同日地線製 十日紀下の蔵可指やに続したので大連市陰小住宅の桔梗町敷地は二

を行つたが競工は十二月二十日の

変那の水路開発事業を援助する場合は支那政府の招聘に歴 反蔣派行り

の報は一般に多大のセンセーショ の報は一般に多大のセンセーショ し炭政府運動に影像者を集べたと し炭政府運動に影像者を集で を実和戦官戦校學生二十名を鉄袋 で実和戦官戦校學生二十名を鉄袋

支那側の無誠意に

獨逸仲介を拒絕か

駐奉領事本國に報告

フ領には他一之により更に率軍は第三次出

熱河軍の移動

獨立宣言

新令 【東京二十日發電】

任闕東廳法院岭縣官(六等)任關東廳技師(四等)

反燕運動の狼火

日本新聞協會

西第十七回大館は二十年京城府郡(京城特徴二十日を)日本新賦協 第十七囘大會 二十日京城で開かる 后 昭和四年九月二十日 「一本 か内外情報電話料金の低減を期かり外情報電話料金の低減を期

「華大十一日」 第四 にある 勝玉 に在る 省防戦策十七版を 林一 でに在る 省防戦策十七版を 林一 でに在る 省防戦策十七版を 移駐することに決し既に 第十七版を 移駐することに 決し既に 第十七版 を 移駐することに 決し既に 第十七版 と 移駐することに 決し既に 第十七版 と 移野す

変わがヘルピンの練司会の相管を変に公乗されてる

部で一貫鐵購入するといつの際に か二輌力は何端へか跳失してしま か二輌力は何端へか跳失してしま で一貫鐵購入するといつの際に で一貫鐵購入するといつの際に

二二七〇

〇不不一四六七楼 〇七二七場 二五四九引 〇申申〇〇〇

二 一六四二六七 四九四一入九 〇〇入六〇〇

満蒙開發に貢献せられな明 20

二三七五

花小內 柳兒 줘科科

毛皮養、染、色 **韓豊田洋行**響

が文房 見店の全国的3億の ルーン級封いくく美 松 日木栖薬局

府。三十日午前十一時安事發素が、三十日午前十一時京城開発 を存める。 を存める。 を存める。 を存める。 を対している。 をがしる。 をがしる。

り輸出為替補償棄が提出された

への職出は危險多さを以て貸替 似行に對し損失の入割を限度と して政府が補償すること ・生糸、綿糸は例外として補償 せざること して強度のため補償委員會を して政府が加償すること

規定改正

裁判手數料

一一棚

高級

月末 三四〇 二一枚

出來不申

(電話四〇〇

昭和四年九月二十五日午前十時半 於大連中央公園忠靈塔前

所が水中に移って

本に動いたのは胎島の産地たる。 な異論は早戦、胎息額に及ぶ事を 恐れ、政府の援助を得て、同市自 たる浮蜒島の潜液波を融発した。 一九一二年間市産出の胎員は不幸 にもロンドン顔面観合の入衛緩止

報告は取り

で、テフスと牡蠣の関係を取物して、サフスと牡蠣の関係は日本に於てもが開像を取物して、受護された京大衛生教證の所由は牡蠣の関係を取物して、牡蠣に依るテフスとは、大塚の関係を取物して、大塚の関係を取物して、

文に問題となるのは。 である。万山氏は七日間、 である。万山氏は七日間、

月近

提灯

町二丁目間より

東の後帰國水産省は更にモスニ 東の後帰國水産省は更にモスニ 東の後帰國水産省は更にモスニ

はない。

一不能なる態度に整理して立ったので、一方佛崎政府は自場の社場であった。政府のこの個表

各方面からの

観光團犇めく

かな大奇術。二十五種の樂器を一大気が素晴らしい。ドイツ人の鮮人類が素晴らしい。ドイツ人の鮮

海倫方面

の現況

油が乘つて來た朝博

場内の設備も完成

吊るして振避す、世界一の大力女 になずなである下しての逆トンボ になって、世界一の大力女

である。支那革命の父といはれるなければ夜の明けぬ騒ぎの中山はなければ夜の明けぬ騒ぎの中山はといかを物語る何よりの恐機ではないかのないではないかのである。

あらら▲見たことのない祀書こと

した支那の官署は吉林縣公安局。 英商スウェリーに請負はしむる意 ・ 英商スウェリーに請負はしむる意

民政康、壁楽郎等であるが、総局な注意が搬はれてゐる

女給 さん入用收入多

市內但馬町二〇

利計る言河の

o可有船

絨毯

不用

社員 招聘固定給支給

斯**寶** 人多大收入確實明治町 安大收入確實明治町

品品

は電人の子弟を教育する高等小學 は電人の子弟を教育する高等小學 は電人の子弟を教育する高等小學 一般校及中學校にも一學に変那舊を既 一學校は一學年以上七學年、小學學校は一學年以上七學年、小學校は一學年以上七學年、小學中的 同樣四時間を科し中學校五年は 一時間で、四學年までは報語の會話 文法、日常會話を、四年から言學年級までと 同樣四時間を科し中學校五年は 一時間で、四學年までと 同樣四時間を科し中學校五年は

タク戦もいよく、二十二日入城へ のだといふ▲呼物の博多のドン るのだといふ▲呼物の博多のドン るのだといふ▲呼物の博多のドン

あること、決して鮮少ではない答と 今日の革命が、ともかくも成就し 株り威張る譯ではないが、支那

牡蠣に就て 目下牡蠣が非常に問題となつて あますから私は英米に於ける牡蠣に就ての取扱ひ方亦た牡蠣と チブスとの陽係を難誌上より抄 鎌し御書考に供し度と存じます 金蔵園 リペブール市の近くにコ ンエーと云ふ小な町が有り河口 で有つて有名な牡蠣の供給地で 有さす、茲では貝が持つてある 相菌や汚物を排泄せしむる自然 浄化の方法を取るのです、即ち 浄化の方法を取るのです、即ち

原者九名、同日C 社交供樂部 を計場では一大大学の を管出席者約三百名患者なし を計算の到來を切望し現下不 で取受者の取締に過誤無からん で取受者の取締に過誤無からん で取受者の取締に過誤無からん

哈爾賓で決定

利益するか

反省を促す 支那有識者の

官製の排日逆官傳などである。

外交を有利に導かんとする らあの外には、職業的の排 らるの外には、職業的の排

排日は支那

to

滿 洲

日報

以内のこととは一次のはない。

大連の牡蠣客域業者展介川氏は大連の牡蠣客域業者展介川氏は大連の牡蠣客域業者展介川氏は大連の牡蠣客域業者展介川氏はよって、然る優之を制身として食臓にし、然る優之を制身として食臓にし、然る優之を制身として食臓にし、然る優之を制身として食臓に

たの右委員會の報告として、一人とは一体圏に於ても前部ソーン氏の報告を設けて、同園圏土會は特別

の事實を誤り像へられたのであら と答用氏が牡蠣には「絶跡の殺 と答れたのは、こ を と と されたのは、こ

にもない。

に単純に片付けて居るものは何處で収録かも出したが、氏のやうでの後幾多の研究も現はれ又各

に、思索--描き出した夢想に出發 つたので、決して學者が研究部内 つたので、決して學者が研究部内 で、

無い。 「無いせる吐蠟の酸化粧を動する上 「無いせる吐蠟の酸化粧を動する上 「無生的なりと観められたる性 類素質素場にあらざれば、吐蠟 を發送し又は需用者に向つて發 を發送し又は需用者に向つて發

牡蠣とチフス

各国に於ける取締法

こ題間に取りて病原腐を保有す」

で、一九一六年以降は再び画の 「で使用せらるる略か器は成功。 で使用せらるる略か器は成功。 で使用せらるる略か器は表の を変料を興へた。 を変料を興へた。 を変料を興へた。 を変料を興いた。 を変料を関いた。 を変料を関いた。 を変料を変形を、 を変料を、 を

下水と共に耐水中に放流されたする。之に就きウード、フート、オース関は一定期間の生命を保持があるが、刀山氏は約一ヶ月と飛ばの地の戦災があるが、刀山氏は約一ヶ月と飛ばからない。

十日間。ポルドニー氏は九日間。 然るに爰に興味ある事實は。死 たテフス菌は著るしくその生存

北りも遠くテフス版が消失する。 生活牡蠣の監内では、死亡牡蠣 生活牡蠣の監内では、死亡牡蠣 生活・大変が消失する。

変那の方々が、御自分のことは棚にあげ置き、思ふことの成らぬ何も彼もが、ことごとく外頭の抑感、その外國といへば、まづ日本といふので、利害關係の密接かつといふので、利害關係の密接かつかれ目の仇にされる。この支那の人として、百も承知し、かつ同情 十九日は親に避む消も快いカラリー大日は親に避む消もいよく油が乗り、一直の十八日ですら一萬の十八日ですら一萬の十八日ですら一萬の十八日ですら一萬の十八日ですら一萬の十九日は親に避むがありません。

居る。その下には、排日を職業と せしめやらとする常習の野心家が せしめやらとする常習の野心家が そこに排日排貨の心理がある。

工事に中止命令 英商にやらせる肚か 不法な吉林公安局

事實上全國組合の入荷禁止を意味 一九一三年後等は帰國社会を表着自身であった。 一九一三年後等は帰國社会を表着自身であった。 一九一三年後等は帰國社会を表示を表して、一般の 一九一三年後等は帰國社会を表示を表して、一般の 一九一三年後等は帰國社会を表示を表して、一般の 一大会会を表示を表示を表示。 一大会会を表示を表示を表示。 一大会会を表示を表示。 一大会会を表示を表示。 一大会会を表示を表示。 一大会会を表示。 一大会会とのを思して、一般に 一大会会を表示。 一大会会を表示。 一大会会と、一大会会。 一大会会。 一大会。 一大会会。 一大会会。 一大会。 一大会会。 一大会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。 一大会会。

自然博工合もよくなって來たから幾分脱れ其れだけ ことになり

は、人一面が乗 一般高本数十匹を成列した。好事家 Rるして接近す。世界一の大力女 にませつたが、では十七日から伊藤公の著女で書 る乗客補賦の断 養城職郡の悉書養順に元てるのだ は、本門佛立 と全各道それら、特設デーで景瀬 女の亭主の翻が見たい」のは記者主催の視察歴 を傾つてゐるが、二十九日から十 と直飛下りて正牛の角を掘んで表情歌の観察歴 を傾つてゐるが、二十九日から十 はかりではなからう エ日間察覚館の内外で行ふ要歌目 はかりではなからう 日本人請負の

がリバンクとしては油房公舎其他 一番工及經濟界を披脈せるものあり 一部の記事を接続せるものだと 報道機構は極東銀行はペルピンの を対している。 は一部の記事を接続せるものあり。 は一部の記事を接続があるのがと

1トのダリバンタでは全部引揚げに 第元の未回収あり、閉鎖により出 第元の未回収あり、閉鎖により出 東るだけこれを回収するに努めた で反對的の對抗運動を試みんとす

貸金囘 支那 商が大に困りて 收に反對

求貸

東公衛町七〇電話六1111五

大連二葉町六 常話四

ラヂ

ナヤマ商會電話を

傳家ハリグ

灸專門療院 九二番

は までを快度が間として海泳してるのであるが、これがために支那であらら、從つてメリバンタに動であるに変形が重れて来る脚であると、因に極東銀行は今後再び開店 までを快騰期間として猶豫してるを整を知っても到底時局轄本館であるので、本年度末のを追っても到底時局轄本館である。

獨身動人に貸し度し

林書 性睾丸炎 鍼灸

療治御野みの方は

治

農作物は一帶に豊作 輸入品の需要増加か

スペルピン数 神、極川大志士の明歌祭は十一日午前十一時から奉作大氏が長春より採哈し、大災に では、一日午前十一時から奉取取司令官を代表して澤田特務機関長の登串率数、職大の登局、職人の登局を代表して澤田特務機関を代表して澤田特務機関を受い、大災に は 一日午前十一時から奉

・ さん数名入用浪 連 町 電三七五三 解通第二十年 日

金融

邦文タイピスト短期養成

邦文 ケ前、午後、夜間 一 日本タイプライタ會社

薬及治療

ラヂ

算盤

五球 玉突 遠連町 山形洋行 電三01五、大六八 田友英米事優特許 大六八 手提金庫 電八七二二番

總統後屋質店

洋服頻運發

東小舟東局

大連市但馬町二二

ル 対町大連製肉所 地 西廣場側伊勢町九〇 語四〇二二へ 第四〇二二へ

東郷町十六(補州ホテル北八軒目) 高島の一川の大に帰へしのみられるとゆせし あいまか 高島 一川の大に帰へしのみ 高島 一般神経の名をゆせし 一般神経の名をゆせし

皮膚病根治お預も致外獵番犬の訓練開始 小鳥エサ器具一式康愛 大連方面語り(トキタ橋、西廣場中間)

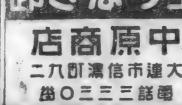
八的安泰安に聞了、八初心養婦は 正 実













リア薬気脚デニ薬漢 **裁助中田…師削藥**

备0一几四話電

ミシンと蓄音器は

シンガーミシンは常軽機 小島 柳島其類一式 和島其類一式

おけ 電話領收證で金 電圧五五七 粉業復興愛買金融

女で 出來る店玩具店文具店

本人來談浪速町 大阪屋號書 塵紙微懷 電話 フヨウ品

入し準備を了へた 人し準備をすべた

入品も其れだけ多くなる

級後英國製 大連市内通一十一 大連市内通一十一 大連市内通一十一 ヤマガタヤ洋家具店 サマガタヤ洋家具店

科器尿淡毒梅康皮

富

· 場広西- 福盤常 · 通西 達大

重

ニチロバン電話大

九電七七七二、九四八四

御一報大鄉見本送皇 大連市伊勢町 **全国五至三** 大連市伊勢町 **全国五至三**

中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 邦文教イプライター印書 東京 は、 一本 中書 開業電話、一六一 中書 いかれてしても、

諸貨物運搬車事業の日の出物タクシートの出物タクシー 取集場

貸衣 後婚禮用

古着 御賀入報器上 一番 古道具 高價 にじまや電六六〇一番

ゴム印の御用命は

スグ出來まれ

ホネッギ 電話八五七五番



島、作の友、沙野田川、

春日校運動會

天臺峰登り(護)

中で寺僧達の歌郷、太籔の音に目 中で寺僧達の歌郷であつた、味の 上正殿の夜は繆瀬であつた、味の 中で寺僧達の歌郷であつた、味の

更細重大觀点

崎 役

喜聲會演奏會

を確ましたが午前三号であったのでまだ外は運輸い、床の中に機队したがら諸島の勢りの難をきる五時に床を放れて室外に出でて戦上に立てば、冷え役とする、響は深い

あったので中止し化城寺に至る。

じ夏虫が啼いて居る。こゝを出 公安局の西嶼に金銭樹と云ふ珍

巡撃がやつて來て此の間は 一般があるので振りてんとしたがず

るる、此所を出で西側の歐温明され、 は一般を出て西側の歐温明され、つっては一般を開きる。 を表現をからつまた。 は一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を出ている。

るる、此所を出で西側の縁

の住宅となつて碑文も物圏の歌鶴明書院の銀門あり、陰睽を歌鶴明書院の銀門あり、陰睽を

有名の古蹟も今に自然消かくれて見へず、 支那ので

れば別心関寺が竹林の間たので雨方山麓にある小

でである。

を入る、地蔵寺、天墨正頂、郷日を入る、地蔵寺、天墨正頂、郷田は世と動の文字も鮮いた。

に立てば、冷え冷とする、動は深に立てば、冷え冷とする、動は深いで加日昇天の崇談の光気を観とれてのは、 一般でも、 一般でも、 一般でも、 一般でも、 一般でも、 一般では、 一般

度りが

、寺僧が進むるまゝに朝餐を放

山附近の山村

皖南旅

行記

(+)

満鐵に寄附

文學校の御大典記念事業

局女ブールを

既館投宿五日長春へ

月四日

三日能伝城へ 一日で 十月で

にて來華同日生一行百卅六

中流以上の倒産

約十軒を數へた

仲秋節決濟の成績

館投宿

らなかつた

方針を採ったこと

留に換算す

価かに十九銭弱▲

危険な飛下り

か充分かは知ら

車が緩慢群ホームに体車せん

が最近事の

後三時四十分來率廿六日無順へ中谷闕東廳警務局長、廿九日午

製さで病人が多いとドーダ領事の

▲清野領事 廿日安率線にて内地 ▲西月族園長 同上 ▲西月族園長 同上

の便り

特選が一日一名吟洋の計長之を金 - の泥水を飲ましてゐたのであるの主張は問選つてゐると云ふ▲其 るといふのだから之迄はスンガリ第三者の保證で暮んでソウェート 特水は之から井戸を掘つて準備す

料水は之から井戸を掘って準備す

九名立候補か

山田小野兩氏既に起っ

提灯候補者擁立說あり

地全部の検査日 一回の公開をする筈 ある明日は休み二十四日は居団 六日晩宮地基督教會に ある明日は休み二十四日は居団 六日晩宮地基督教會に かるべく渡浦せる。 や試みるべく渡浦せる。

満鐵の努力奏功

豚の品評會は好成績

世七日來率廿九日無 智識所主催實業視察團

内紅梅町世番地に住む王峯子 風船玉で落命

氏一行二名 文信は職で七百十四列軍の貨車入 が無難って認著し線路上に隣はつた ので同貨車の下敷となり胴體を でも非常に倉重され取引した な忠賞な人で明治四十三年高級 中國人養成所を卒へその後披濯 中國人方面から多大の同情を寄せ られてゐる

名 いふ今年四歳になる支那人の女兄は十九日午後六時五十分頃総大の 大る十五日陽祭聯部制工を買い求め遊戲中誤つ (二九)は内地より眞野の際の出来 事で奉天には原籍なく奏町二五番上よし 地あたりを捜査したが全く不明で か 8月1978月11日 | 手管を施したが送に蘇生するに至 あつたと

を出す事にならう

一学は前の決議がは時間の影響を受る影響は膨膨性に違らぬであらら時間がはいづれもモタレ合氣がであるから特別がであるためと然し殆ど映損してをらぬ店はない。 一十九日までの懇商館職の傳家向にが、一次行る的範疇である。 一十九日までの懇商館職の傳家向にが、一次行る的範疇である。 一十九日までの懇商館職の傳家向にが、一次行る的範疇である。 一十九日までの懇商館職の傳家向にが、一般であるから特意期出睡りが職業、永識清。養職費であるが他の同系商店で之を館から、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他の同系商店で之を館が、一般であるが他のである。 電付近に遊んであた日本人児童二 電付近に遊んであた日本人児童二 名が線路を傾切らんとしたのを見 気が線路を傾切らんとしたのを見 二見を救ふ

政なりし善行を職場した 自ら金一封と表彰状を興へて其勢 自ら金一封と表彰状を興へて其勢 今日の案内〇二十二日)

が今は古風が勝跳して居る。今は荒殿し内 でいまして壁つてある往時は臓影地に として壁つてある往時は臓影地に として壁つてある往時は臓影地に が今は古風が勝跳し草が深々と生 が今は古風が勝跳し草が深々と生

三郎、森正平、山下五郎、北田 三郎、森正平、山下五郎、北田 祭太郎、山口文次郎、弓倉悦藏 原見主造、大原潜涵、椙直大、原見主造、大原潜涵、椙直大、原見主造、大原、森公平、山内霊孝、柳 太郎、森公平、山下五郎、北田 大郎、森公平、山下五郎、北田 大郎、森正平、山下五郎、北田

擴張計畫

の登想に反し無事決済を終へた複の登想に反し無事決済を終へた複の暴落により支那人側一線取引は如き状態にある爲め仲林節決済は一般の景落により支那人側一線取引はの最落により支那人側一線取引はの最高により支那人側一線取引は

貯水池いたみ

高等小學教育が得もすれば忌害科育をなさないのみか響る厄介地方

館及宿廿七日無順往復同名。廿五日安率線にて來 最近著しく増加 朝鮮博見物を機會に 天

大分縣生れ旅順綾島町四十一番地京原長八郎 内臓の 要川原 しげる「原原長八郎 内臓の 要川原 しげる「原原長八郎 内臓の 要川原 しげる」 第四回能率講習 ・ 本の回能率講習を はれてゐる 藤四郎氏であると 藤四郎氏であると

地方委員選事期日の選近に伴れて 地方委員選事期日の選近に伴れて 大変 大変 での小田原評論も形々と本物 になり 既報の如く小野院長の推慰 医の地域 医神酸表に次で二十日には山田越 一般 になり に 報 の如く小野院長の 推慰 と なったが 公然と で 正式 変表 二名となったが 公然と 大郎、儒本勝蔵 大郎、儒本勝蔵 宣言せずとも常然立候補の人と見で正式競表二名となつたが公然と

機合一人でも道件れを外くするや、機ができるるが、個本人に一向時、一般、変遷焼之助、宗石昻氏等の立て、大場では、大きない、一向時に、大きない。 ならぬ譯だが、運動資中に落選の動し結局一名の落選者を出されば 小野院長を始め四名の候補あり市の四氏があり、それに青鎌鼬から が無く矢張りに同は一人の落選者医補配もあるが、領本人に一直要 名。定員入名に 出品者總代の答解あり

しは宴を張ったが、高

に五ヶ年今や改良に良好で鐵嶺種豚はとして屠殺され出日 版の本場であるに知言として

安東商工會議所常議員選舉は上

昭和製鋼所設置問題が解決を告げ 開業騒念されてゐたが事と が変別に設置が實現せば之に要す の漢想に反し無事決済を終 如き財態による爲が何材質

十時代頃三名の支那人入り来たり小間物商吉田衆吉方に十九日午後

八名出馬 大石橋

十三日満電本配野珠軍を巡へ午後

を出致して行はれた。先づ全員午前八 「成の攻撃軍(『戦)は午前九時校 「成の攻撃軍(『戦)は午前九時校 「大三年生及守軍隊」として行はれた。先づ全員中前八 「大三年生及守軍隊」を引って編

発達を表現である。 「一十五日富地小野吹藤堂に於て 「一十五日富地小野吹藤堂に於て 「一十五日富地小野吹藤堂に於て 催大人十個小人五錢 公主嶺 地委選擧戰

引ずられ墜落せんとする危機一髪でつて昇降口に揺まった壁穴十米も

隆落せんとす

の際助役機械駆氏は身を挺してこ

松田拓相鎌嶺通過時刻は左の如松田拓相着期(既瀬原祭 形勢観響沈沙 南がこれるで一覧に名乗りを撃げたが 前期に比し出馬の新鶴が頗る多く に東奔西馳してゐる折橋を強いの策断 を選が成れるる折橋を強いの策断 に東奔西馳してゐる折橋を強いの策断 は得楽にもかりを撃げたが でででしたので一覧に名乗りを撃げたが に東奔西馳してゐる折橋を強いの策断 を表してあった。 人質を拉去

やまとの新旗 常市花柳の大き人を覧入として放致目下之れが回贈金の強要になれるものであると 十七日の午後七時梨田縣失火海郭に家店の東方十支里居住農張瀬方に り且つ設備其他使用電力等より見 観察すると 中にて職無の野

十八日行は

商議常議員選擧

新額は九名當選した

済寺に率納すること」なった 選び米山朴堂氏之を揮毫して幅九 選び米山朴堂氏之を揮毫して幅九

済寺に奉納 に 足引

会を間備すべく目下協画中である は同氏の来安を機として同夜歌迎 は同氏の来安を機として同夜歌迎 であるが、同様である大分縣人会で は同氏の来安を機として同夜歌迎

日本婦人を 軍刀で刺殺

房 店

を継通したるも一向に効がないので淡紫船を買入れ淡珠・ることとなり、過酸下流技師長ホーゼット氏が最時に出張酸々買入れを終り上月初旬には雪地に廻航するよし

青聯支部演說會

鮮婦人

三三雄成▲同雄△四一銀打▲四九銀△四八金打▲三八銀成△同盤一面以下指方】△六五桂▲同銀△二五桂▲五八銀ナラズ

悪性感冒

野外演習

鞍山中壁校の全校秋季演

で て 常日は定めし 歌音を確むるであった 実地 が 歌時の 歌向を 聚らせる 運動 音と とが、何しろ同 に依り施行する事となった に依り施行する事となった

ンドに於て攀行される事に決し既

冷や不 なる人は秋口は最も注意を要す、 一養生のために胃腸を甚ら 損傷せしめ重症に陷り身體がげつそり衰弱する事がある。夏季の暑さのために知らずしくに氷ビールサイダー等の に水ビールサイダー等の飲み過

優せしめ 估て置きたるため其の機能を つも胃弱にて食慾性 内部には疵やたい 病の 世まず 間胃腸の故 すつか

如きものを湿 ブッ

も身に付ず身體衰弱

色悪しく身體虚弱となり疲勞を覺え 古のため肺尖

(五)

肺尖加答児 胃癌の發生

小腸加答見

大腸潰瘍痛み

減じ大腸に於ては硫化水素こ化 重症でも必ず大効果を得べし すれば胃腸を健全にし食慾を淮 アイフは胃腸病に對し最も親切 目に見えて健康を回復し随分の にし體重を著しく増加し服用後 め血色を良し栄養の吸收を住良 に胃腸病者は此のアイフを入服 の痛みを鎮靜する特効がある。故 め粘膜を強出にし粘液の分泌を 答見の原因たる腹胃内腔 に調剤せる良薬にして主薬は加 緩を引しめ蠕動を制し下痢を上 て居る部分に附着して炎症を貨 合して硫化着鉛こなり 胃腸の地 書の爛れ

胃部痛品胃擴張 アイフは各薬店に販賣す 頑悪なる下痢 腸結核 水館へ御注文の方は栗債を慰使為善文に無替大阪三四五番へ搬込あれ着金次第登場

大連支店 順 公司

發量和順和公司

ない調です。處で本と目との健康ない調です。處で本と目との健康 一尺位にする。之は云はずとも れは本の而と直角になります。この

投入れや盛花

\$

生活との調和を

花の美を價値づけて

壁い文字が並んで戻りますから、 なってないとひどく眼。 抜れます

た間上からか自分の頭の脳も本にこで置火を後方に位置するとして

あるとは云へ、その実は永濛を藍 一層影響せしめたものでありますとかもそれはたとひ一時の生命で かれたのは、その美なり詩なりを挟しさと、詩が整んで居ります。 ります。 智から詩に歌はれ繪に撒松の葉にも、自然が興へてくれた にその詩には無國の識を願へて居からませんか、同時さいやかな意の一輪の花にも、一 らさせるではありませんか、同時

そうな事は勿識でありますが、エットに述べませる。第一に部屋を明の光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のの光線は自分のがありますが、エ 大に遠べませる。第一に部屋を明っていか、眼を響しない様な讃み方を一つのでは、ませる。第一に部屋を明っていっている。 く疲勞させるからであります。そ の頭の膝がらつりそうですがが臓 ければならないかと云ふと、 射す様にしなけ

月

四

の疲れぬ讀書法

む秋を迎へ

電燈ご本の位置の注意が第一

髪て讀む事は禁物

を と下の文字は脚との瞬脚が遠ふ為 たっ 同じく早く脚を疲れる数になりませんのつま は、脚ころがつて歌むと、光観を は、脚ころがつて歌むと、光観を なまけたりする等の関係で無理な変 の みん 眼が早く 疲れ、ば自然本を置むには端坐して置むにこし 水を置むには端坐して置むにこし

光にするのであります。即ち百

はれて唐ります。それが彩や色彩にかいはらず、つねに此の美と詩にしいいです。そこで音々が神を興へるのです。そこで音々が神をつくない概能したい窓響を建したい窓響を建したの花を一層美術に隠覚し得るか 道にはすべての調和と云ふ事を考 道にはすべての調和と云ふ事を考 が変重ねて來たのですが、元來化 が変重ねて來たのですが、元來化 **花道がひらけたのです。自然の委** 活とは多くの職たりを生じてしまへられて来たので現代の吾々の生 ひました。何より建築との調和が

(六)

べて此の既に留意して行かなければなりま 活状態とも関係がなければなりません。その

古奥を味はふと同時に新しい部場がして行くそれは新しい部屋にものまり様の間にも能る事が出来、臍接蛇の側壁の上にもできなるのは常然です。 これは花卉の上にも これを活かれるやうなものからし 古を置な。近と思って行かなければなりませんの別説をれには長いにはなりませんの別説をれには長い りと調和し難いのです。

兄童無視 社交娛樂の改善

松茸の調理

でさらな公園や郊外の容無のよいでさらな公園や郊外の容無のよい。 の大本位の芝居や、活動部園小 を成人本位の芝居や、活動部園小 を成人本位の芝居や、活動部園小

であると思ふ。

運動其まで概へて大公園に出掛け ボール、総、脚その他の ボール、総、脚その他の 築しく遊んで贈るといふ風である これは我國民の母んで配とすべき

一合、パセリを刻んだもの少量、 ・ りとして腹水に浸して置き、暫ら ・ りとして腹水に浸して置き、暫ら ・ りとして腹水に浸して置き、暫ら ・ なま取って敷きます。

秋が最もよ

結核の養生期

胃腸の健康増進第一空氣浴外氣浴が好適

継ふて屋外に於て日光の直射を選れて行つたならば、冬の感情等に んで行つたならば、冬の感情等に んで行つたならば、冬の感情等に

特約店募集(**ログ道型)電話機川三 ・ 製麺機界の調王 ・ 製麺機界の調王 ・ 大阪非属大正独五丁目 ・ 大阪非属大正独五丁目 ・ 大阪非属大正独五丁目 ・ 大阪非属大正独五丁目 ・ 大阪非属大正独五丁目

汚點除き方 拾銭以内です 特約店 河 西 **發賣元 三 河 ■** 傷を受けてバンク 絶對にパンクしま 然パングに對して 自蘇車、自動車、 人力車に乗用中外 内に注入し置けば する場合に勿論自 『本液をチューブ 據替欠版五三大四○春 井物產株 實特託願済 曹操者に契約す 特約店募集

休日には終日子供さ 一緒に樂しく遊ぶ事

出産の

安産の秘訣 姙娠こ糞尿ごの關係

脚氣症防止に胚芽米

と や活動な風はが見にはよ く解らず面白くないばか りでなく時々が見がびつ

が大切であります。株口は悪剣類を来たさい大切でありませんから充分の注意を表 く締めた傾きがありますが、なる あります。腹帶の魅力も健衆は固 あります。腹帶の魅力も健衆は固 があります。腹帯の魅力も健果が

の要求とか利害とか云ふものは常

内 も当ずに子供の同意を なと云つて喰られた ・ はでもは々子供の同意を

諸して歌きますと為戦師の方でも 光方の家風御盤人の獣斑眈宍等を 光方の家風御盤人の獣斑眈宍等を

ものは配色の駅の仏獣は郷光上鉄は色のものをおっけになると様が様

を用意しておく必要があると思ひ ます職職師の方から見た見合用の まず職職師の方から見た見合用の すづその旨を告げる事

お作性と震物の色合と特に就で、 は作性と震物の色合と特に就ですると無首から即映につ

線とは容色の美を打ち背しますから とこざいませふ、探光上の獣服とし こざいませふ、探光上の獣服とし まして色の白い方は白いなけれるのかのような要がある。 まして色の白い方は白いなりを が好までいるのが好ましく地のようを を利わすに撮り具いと思いまのが開とし はないまでは、ないまのよりも はないまでは、ないまのよりも はないまでは、ないまのよりも はないまでは、ないまのよりも はないまでは、ないまのよりも はないまでは、ないまのよりも

寫される時の集の持ち方

をの時折の無持ちの歌きに依て人 ます疾に見合用の誤戯となります を重火なる使命をおびてあるものでござい を重火なる使命をおびてあるもの

職馬の すなものに撮り現代的の方のには粉かまでものに撮り現代的の方のには粉かまでものに撮り現代的の方のには粉かなものに撮り現代的の方のには粉かないに換うボーズも厳手でも動脈は外に其の人の稼動からか味に撮る

たちのよりも無政師の見て無に入ったものよりも無政師の見て無に入ったものよりも無政師の見て無に入ったものを贈る事であります、派はその都度をお選びになったら賞がませいなるのが縛って安全のがしますまた贈るべき無政がよければよい整何時間した。

いざ記すといる瞬間になると針に 改つた表情になって勢ひ出来たも さいます「寫される」と云ふ観念 を試れてしまつて記し無にのまれ ないで興酸にかまって記し無にのまれ ないで関酸にかまって記しまっまい。 を記れてしまって記しまって記しまった。 を記れてしまって記しまって記しまった。 を記れてしまって記しまって記しまった。 を記れてしまって記しまって記しまった。 を記れてしまって記しまって記しまった。

見合用の寫眞の撮り方

甲斐絹や博多地は 皺を作らぬ様に

○…洗酸に際して、よく操んで汚りますが、これは微微波として良い事ではありません、殊になって居 番禁物は揉み洗ひ は 一番いけないのは様多様が甲斐縄は 一番いけないのは様多様が甲斐縄

母ちゃん「おら貴女」とのエプロン女の子のぢゃありませんさくて「短のやうだな」 ちゃんの買 50 靴下は大き過ぎたし帽子は小 文

éa

48

父ちゃん

りますから、それを適宜使ひ分けりますから、それを適宜使ひ分け

る様にすれば生地を傷めません。

度町六七ノ三 小 川

工合が大變に良いのです。様々洗

リと共に皿に盛り温いうちに食べ 付くまで揚げ取り出して柚子パセ で置き別に掲げ物類にラードを入

染物の注意

34

の柚子の汁をかけて温い間に食めて燠き適宜に切つて皿に盛り

除けます。一度で駄目なら二三 な悪の際ににじみの出来る事が を探の際ににじみの出来る事が でしめし、新聞紙の間に挟ん かます。その際はしみの端を揮 を探の際によって でしなり、表情紙の間に挟ん

はな赤き人の大福音

ないものでありますから、特に注めが仕上げに際してなかくと延びなけると、その際に出来た 先づ石敞液に渡し 病 內服秘藥

水利權爭奪に 大金を撒く 昭和電力と飛州木材の

既に開始され富山縣會議長黒川由身昭和電力は地元に於ける取職べ、東京二十一發電」大同電力の分 一一 特の内容は昭和電力を電所の有る圧川の 大き社との間の水利戦問題に端を では昭和電力を乗州木林株本 職者の被罪を見る模様である。事

疑獄は盆々擴大せん

仰裁可を仰ぎ發表 東京府、神奈川縣兩知事推薦の りが見と共に宮中女官部屋の一部 代して御優乳するのである、光榮の乳人は今月末か來月初めよ れの御召を持つ、倘正と控は各交光榮の乳人は今月末か來月初めよ れの御召を持つ、倘正と控は各交 本る十月二日の佛宮式年圏宮祭に て奉祝圏生圏に発育するものは劉来る十月二日の佛宮式年圏宮祭に 東顧及び精錬に於て人歌の総料、 原等決院検察官長安昭轄四郎氏に 旅順工科大學水生後藤三郎、並に 東顧及び精錬に於て人歌の総料、 東顧及び精錬に於て人歌の総料、 東顧及び精錬に於て人歌の総料、 一名が御召に浴す 奉祝學生團に **参會の誇り** 工大の後藤、奉中の入江兩君 決る 我全滿學生を代表

中央方面 にて片附けるべは此の問題を

【東京二十日發電】御大典記念章

戦ひ利あらず

同澤軍慘敗

スコアー

にて

記念章事件

大阪の大塚融三の三名は飛送明白となつてあるが起訴保留のま♪!! となつてあるが起訴保留のま♪!! となつてあるが起訴保留のま♪!! となってあるが起訴保留のま♪!!

▲メンスダブル准決勝

贈賄者三名釋放

同僚の縣會議鼓買敷に方々面の運動費として

酸^電者には前

啊師匠出演のだ-

しものと豫定時間

一、神田祭六、四〇)

り又某前配官の手に渡ったと云は飲水等中)を通じて某大官の手に渡敷等中)を通じて某大官の手に渡敷等にて 武の帳簿では假出金は三十年 となつてゐる

恒主人で賛て東京相撲の花形力士 機山の後身である

職より雪崎の東大官に振供された 十一點○、二十一點一にて逃に耽いてつき十萬國の贈賄が昭和電力 同澤軍は旅の疲れ至く驚えず、二 は 東京二十日愛電】宮山縣下に於 「握手を」 勝つていよく 歌 人疑獄化せん

自然發火瓦斯湧出で

作業中の八名即死

昨朝撫順東郷南坑で

10A117

明大慘敗

對神明高女排球戰 和意思をなしなのでは、 相関しい和やかなゲームであれば勝手をなしなので、 関東京に高速を一環の終って開東京に高速を一環の終った。 間の互動を投じてあるだけにスターの対象を対してあるが、二十五萬 の大グラウンドに於て開催される。【本天特徴二十一日数】日獨支の【本天特徴二十一日数】日獨支の ことになつてゐるので目下之が

全滿球庭球大會 奉天益濟寮コ

愈よけふ盛大に開催

二十一時三十分優列車にて多数の ・一般に大連電架戦闘係者の見強り を受けて近無的歌に沿線密征に出 を受けて近無的歌に沿線密征に出 を受けて近無的歌に沿線密征に出 を受けて近無的歌に沿線密征に出

被勝治氏撤退會は既報の通り一 難波勝治氏

第四回

吳

服

買

會

始め

ましたどうぞ御買物に御利用を顧ます

每每每 月月月

三圓五十錢宛掛 同

締切

十月三十日

大連市磐城町

屋

見新が湧出して作歌中の郷湖湖(a) 間入時東郷南城に自然硬火により 「独職神歌二十一日歌」 廿一日午

米だ報知に接せぬので何んともへば

第三回版は二十日午後二時二十分 第三回版は二十日午後二時二十分

ララフ

値下げした、原因は銀の値下り は東亜煙草舎社の製品を除く外 は東亜煙草舎社の製品を除く外 である。 個人一程から二十銭ブメー湾に 個人一程から二十銭ブメー湾に の支那及外側煙草は各種共二十 である。 の大一程がら二十銭ブメー湾に 「個雅子・鎌倉、岡崎拍子、校」はと駐(二浦) 原豪、聖殿、神田丸(一 強とり、帆かけ船(二) が來た、理き上りこ

である如何にも全ある如く数ひ務線 に解析古(1e)はこの五日午前三時に解析される。 にある如く数ひ務線

で下昨城ではり大連艦に駆けられ目 の告訴により大連艦に駆けられ目

全講師珠選手権大會第五回目は一

きのい

ふの成

全滿硬球試合

全滿射擊大會

感る二十二日に舉行

支那煙草値下

見宮大優勝盃も成は本年歌生 歌琴官の上に出る者あり、ま 歌琴官の上に出る者あり、ま

辻村弘かた無職

ヤマトホルテの宿料を踏倒し

洋服を詐取して御用

(組然 (清耽) 副秋保 昭和四年九月廿二日(日曜日) 自任後三時三十分ニュース 自午後三時三十分ニュース 1年後七時(レコードの夕)

(大串 (百田 (岸川

行進曲(同)

木ツトを境に日支親善の排球戦

校コートにてうつす

云ふ意味の紹介状を配め、和何

連直輸入等一時記号係 何れも蹶米各一流時計會趾の製品で 宫崎尚明

天正堂時計店

當市に直接輸入せらるゝ時所であり

以上五種に限られてゐます。

营口近江洋行 奥田 不時支計

清元壽滿太夫演奏會 愈る今晚六時半から開演 ヤマトホ テル大廣間にて

九月二十日より三十日まで

在庫品八萬圓

各種時計、貴金屬品其の他一切

三、梅の春(九三〇)四、喜撰(ここ、〇〇) 十日午後四時から市内中央公 一つかさね(七三〇) になり的千人を敬容し得るものではその中の一鵬を借り受けること

1トに於て墨行されたが、成職左十日午後四時から市内中央公園コ 九時三十分松山墨コートで開始さ 趣味戦は二十二日午

一割引より七割引

品物は確實

お早いが徳

整理の

二十一日午後四時より全部の決勝なほメンスシングル推決勝駄は今 小田▲大連 大久保、木村、本シングルス▲撃天 宮原、乃萬

ブ中尉の再學 第三機製作か

日獨支競技に

其の資金機出方法につき鑑賞中で 佐瀬三番目の飛行機を抵供すべく に第三番目の飛行機を抵供すべく

勝馬投票券

馬俱樂部

トて

年紀念割引大 獵具附屬品

一割五分引

大連市吉野町二〇

如何にお安いかを一度お調べ下さい 一書子

話四七〇五世

差引導網灣

世引いてポチ斑

治量は

「……生活問題がやから何うだといふんだ?今日の社會では、食ふいかに血経うたればとて、我歌の日出度い実際に押しかけて来、 いかに血経うたればとて、我歌のでも、 は人のがやりは難されんのがやりのとして来が、 おいるとは何事か。そんな振って、 いかに血経うたればとて、我歌のでもりでなる所能をその筋に聴ふつもりで

おんなつまらない一裏を織じたん

の職職職にしいや、天下百萬のプしませらし三百の都合員にし三千

暗夜に燈火の無いのと

同じです。

持たないのは

森永ミルクキャラメル

ピクニックに

步

們良品

(108)

(A)



室毛染 「シンニ ン=

は命用
回(雅優術技)(切懇)(整完備設) 美連大 屬附 院 容 美 京 東 液) 町野吉市連大 番七五五七話電

特許 16









E -53

●胃鳥上海行 | 表達丸 九 何でも御利用下さい大連条内所 部の御旅行の事は 昭和 薬脈一の和昭